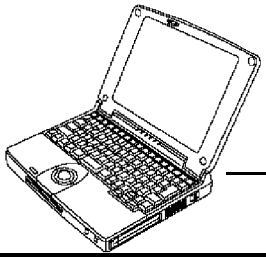


Panasonic

パーソナルコンピューター
取扱説明書

品番 AL-N4T512J5



ご使用前に

使いかた

必要なときに

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

⊘	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

電源プラグのほこり等は定期的にとる

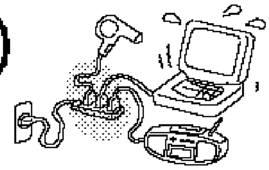


プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止



たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠警告

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

禁止



感電の原因になります。

本機を分解したり、改造したりしない

禁止

高電圧に注意

サービスマン以外の方は分解しないでください。内部には高圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、分解・改造は火災の原因にもなります。

上に水などの入った容器や金属物を置かない

禁止



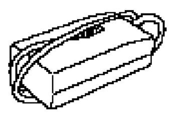
水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

禁止



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く



電源プラグを抜く



・本体が破損した　・異臭がする
・本体内に異物が入った
・煙が出ている　・発熱している
などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● 異常が起きたらすぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む





差し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠注意

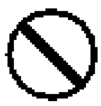
不安定な場所に置かない



禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない



禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

1時間ごとに10〜15分間の休憩を取る



長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になることがあります。

⚠注意

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

● 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

必ず指定のACアダプターを使用する

指定以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

使用上のお願い

・お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切の責任を負いません。
・本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
・お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、以下のことに注意してください。

ハードディスクのデータ保護

●コンピューターに衝撃を与えない。
ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションが使えなくなることがあります。
コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
●Windows*やアプリケーションソフトの動作中およびHDDアクセスランプ（　）の点灯中は、電源を切らない。
●ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合（故障・変化・消失など）に備えて定期的にフロッピーディスク等に保存しておく。
●データの機密保護としてセキュリティー機能を活用する。（→48ページ）

* 正式名称は、Microsoft® Windows® 95 operating systemです。本書ではWindowsまたはWindows 95と表記します。

コンピューターウィルス

●最新のウィルスチェックプログラム（市販）を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
・コンピューターを起動するとき
・データを入手したとき
フロッピーディスクなどの外部メディアから、またネットワーク、パソコン通信、電子メールなどから入手したデータ（圧縮されている場合は、圧縮解凍後のファイル）を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

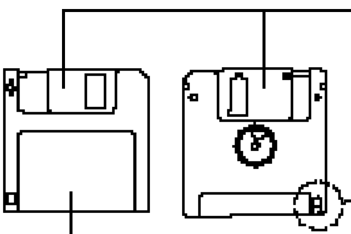
フロッピーディスクのデータ保護

●フロッピーディスクドライブのランプが点灯中に、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしない。
フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションが使えなくなることがあります。

●一度使用したフロッピーディスクをフォーマット（初期化）する場合はその前に内容を確認する。
フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。

●書き込み禁止タブ（ライトプロテクトタブ）を使う。
重要なデータを保存している場合におすすめします。
これにより、データの削除や上書き保存を禁止することができます。

●フロッピーディスクの取り扱いに注意する。
データの破損やフロッピーディスクが本体から取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
・シャッターを手で開けない
・磁気を帯びたものを近づけない
・高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
・ラベルを重ねて貼らない



シャッター

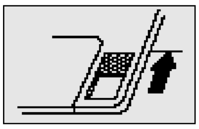
ドライブにセットするとシャッターが開き、ここからデータの読み書きを行います。

ライトプロテクトタブ

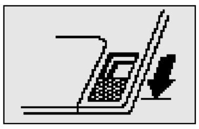
データを誤って消したり、書き換えたりするのを防ぐために使用します。

ラベル

保存しているデータの内容などを書いておくと便利です。



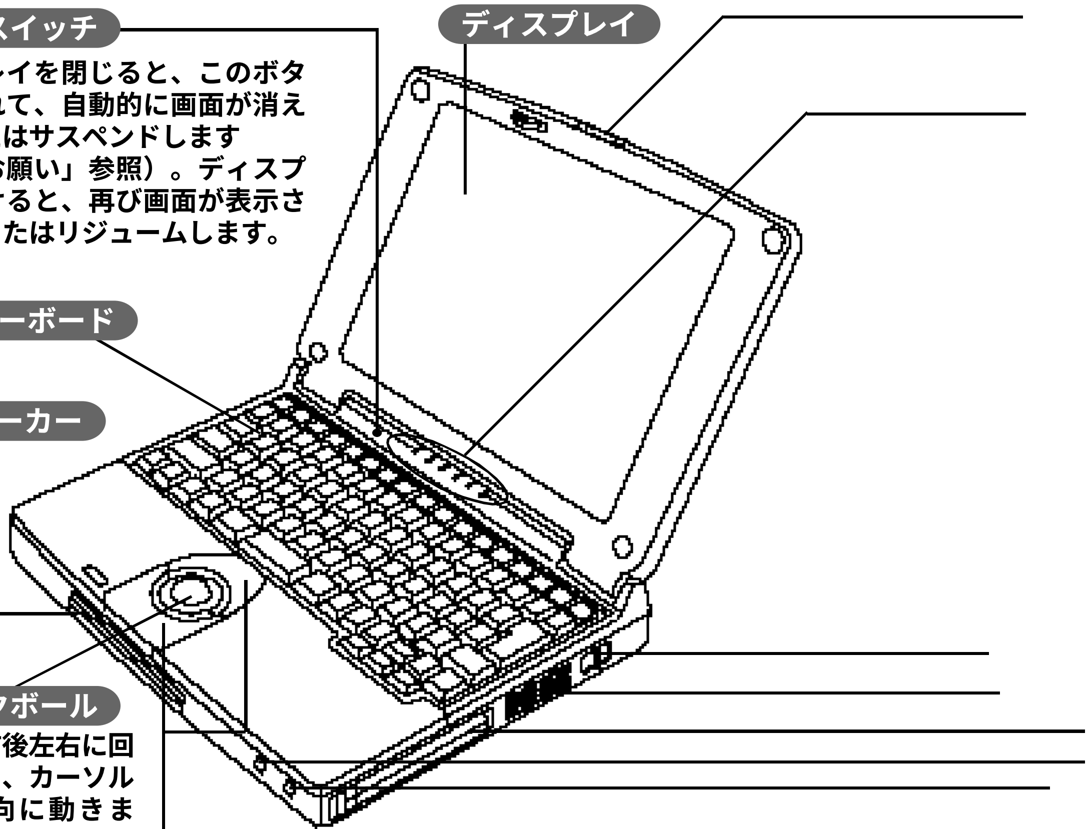
書き込み可能な状態



書き込み禁止の状態

各部の名称と働き

前面/側面



パネルスイッチ

ディスプレイを閉じると、このボタンが押されて、自動的に画面が消えます。またはサスペンドします（下記「お願い」参照）。ディスプレイを開けると、再び画面が表示されます。またはリジュームします。

ディスプレイ

キーボード

内蔵スピーカー

トラックボール

ボールを前後左右に回転させると、カーソルがその方向に動きます。

クリックボタン

トラックボールを使って操作するとき、ここを押すとメニューの選択などができます。

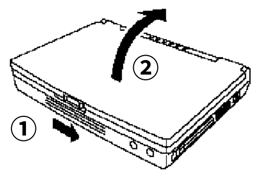
お願い

サスペンドさせるには、「パネルスイッチ」を「サスペンド」に設定しておく必要があります。（→49ページ）

ディスプレイを閉じてサスペンドさせる場合は、電源表示ランプが消灯するまで（完全にサスペンド状態になるまで）はディスプレイを開けないでください。

途中でディスプレイを開けると、サスペンド状態に入ったままレジュームできない場合があります。その場合は、再度、ディスプレイを閉じた後、数秒たってからディスプレイを開けてください。

◆ディスプレイを開ける



オープンラッチ

ここをスライドさせてディスプレイを開けます。

状態表示ランプ

NumLK・CapsLK・ScrLK

機能時：緑色

HDDアクセスランプ

HDD動作中：緑色

バッテリー状態表示ランプ

バッテリーパックの充電状態を表示します。(→27ページ)

電源表示ランプ

電源オン時：緑色

電源スイッチ POWER

本体電源の 入/切を切り替えます。

PCカードスロット

PC Card Standard規格に準拠したカードをセットします。（5Vまで対応）

通風孔

ふさがないでください。

マイクロホン端子

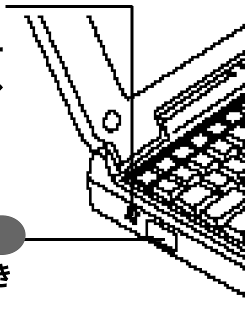
市販のモノラル・ダイナミックマイクロホンのミニジャックタイプを接続します。

ヘッドホン端子

市販のオーディオ用ヘッドホン、スピーカーなどを接続します。

電源端子

付属のACアダプターのDCプラグを接続します。



赤外線通信ポート

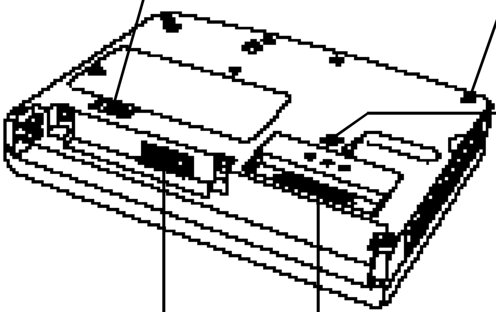
赤外線通信を行うときに使用します。

お願い

モノラル・ダイナミックマイクロホン以外をご使用になると、音の入力ができなかったり、故障の原因になる場合があります。

各部の名称と働き

背面/底面



バッテリーパック取り出しレバー

バッテリーパックを取り外すときに、ここをスライドします。

RAMモジュールの取り付け／取り外し時に、このビスを外します。（→35ページ）

リセットスイッチ

コンピューターが動かなくなって操作できなくなったときに、先の細いもので押すとコンピューターが再起動します。鉛筆などの折れやすいものは使用しないでください。

お願い

何らかの問題が発生して、コンピューターが動かなくなって操作できなくなったとき以外は、使用しないでください。保存していないデータは失われます。

拡張バスコネクター

I/Oボックスを取り付けます。

バッテリーパックコネクター

バッテリーパックを取り付けます。

◆お手入れのしかた

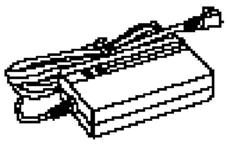
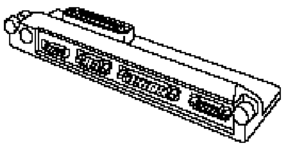
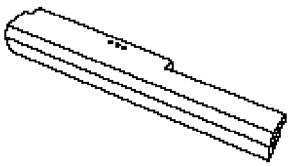
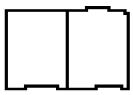
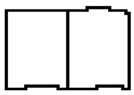
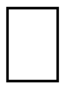
・ディスプレイ部分
ガーゼなどのやわらかい布にイソプロピルアルコールやエチルアルコールを十分に浸み込ませて、軽くふきとります。その他の溶剤は使用しないでください。

・ディスプレイ以外の部分
柔らかい乾いた布で、やさしくふきとります。
ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用するのは避けてください。

はじめて使うとき

1 梱包物を確認する。

万一、足りない場合、または異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

本体	ACアダプター ... 1個	電源コード 1本
	 品番：CF-AA1526*	
I/Oボックス 1個	バッテリーパック . 1個	外付けフロッピーディスクドライブ 1個
 品番：AL-NFEB040	 品番：AL-NFBL040J	 品番：AL-NFFE020J
取扱説明書 1冊	Windows 95パック 1部	
（本書） 	 ファーストステップガイド  Windows 95 CD-ROM Internet Explorer CD-ROM  ユーザーカード	

その他の印刷物

- 保証書
- ご愛用者登録カード/ソフトウェアサポートカード
- バッテリーパックについてのお知らせ
- ニフティマネージャーのご案内
- Hi-HOのご案内
- AOL（アメリカ・オンライン）のご案内
- Let's note保険のご案内
- パナソニック商品のご紹介
- フロッピーディスクラベル（1枚）

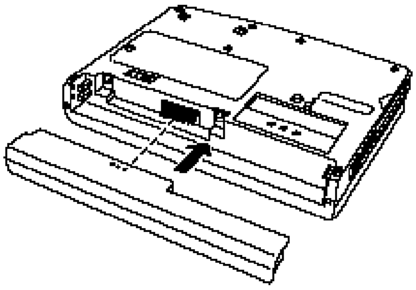
* ACアダプター単品の品番です。ACアダプターと電源コードをセットにして別売りしていますが、その品番はAL-NFAA020Jです。（別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。仕様改善のため、予告なく変更することがあります。）

はじめて使うとき

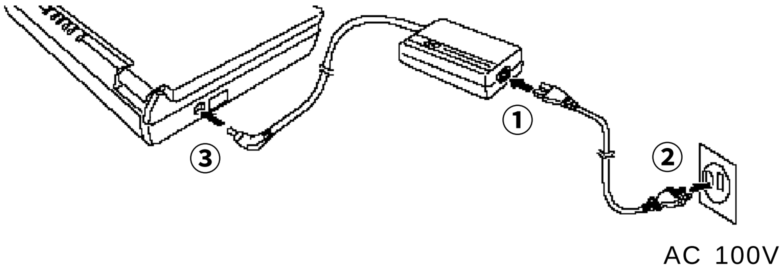
ご使用前に

2 本体を裏返して、バッテリーパックを取り付ける。

（詳しくは→23ページ）



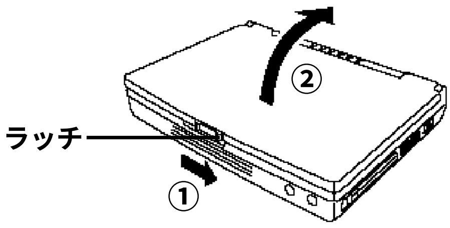
3 付属のACアダプターを接続する。



お願い

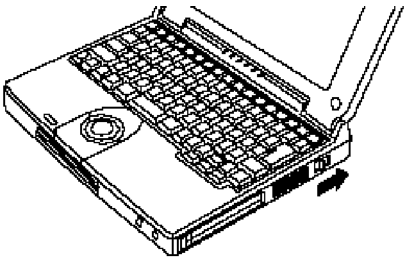
- バッテリー状態表示ランプが緑色になるまでは、途中でACアダプターを取り外さないでください。
- コンピューター本体にACアダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いておいてください。
  (ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1.2 Wの電力が消費されます。)

4 ディスプレイを開ける。



5 ソフトウェア使用許諾書（→89ページ）の内容をご確認のうえ、同意する。

6 本体の電源を入れる。



① 電源スイッチの上に貼られたシールをはがす。（シールをはがすと使用許諾書に同意したとみなされます。）

② 電源スイッチを後方へ約１秒間スライドし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから、手をはなす。

お願い

- ディスプレイを閉じた（パネルスイッチが押された）状態では、電源が入りません。ディスプレイを開けてから電源を入れてください。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで5秒以上あけてください。

はじめて使うとき

ご使用前に

7 Windowsのセットアップを行う

①「ユーザー情報」画面で名前と会社名を入力し、[次へ]をクリックする。
名前や会社名の欄には、ニックネームや略称などを入力してもかまいません。また、会社名は省略することができます。

②「使用許諾契約書」画面の内容をよく読んだ後、「同意する」の左横の○をクリックし、[次へ]をクリックする。

③「Certificate of Authenticity」画面が表示されたら、付属の『ファーストステップガイド』の表紙に記入されている番号を入力し、[次へ]をクリックする。

④「ウィザードの開始」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。

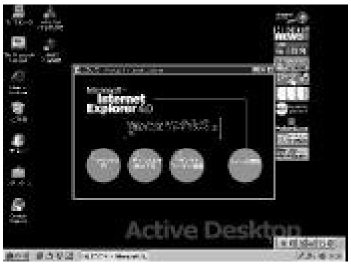
⑤「日付と時刻のプロパティ」画面で[日付と時刻]タブをクリックする。
日付と時刻が正しく設定されていない場合は修正して[閉じる]をクリックする。

⑥「プリンタウィザード」画面が表示されたら、ここでは、まだプリンターを接続していないので、[キャンセル]をクリックする。

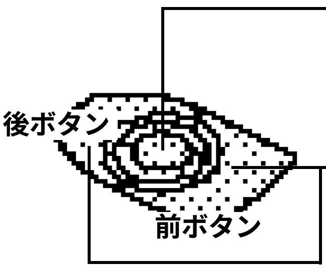
補足

プリンターを接続した場合は、「プリンターウィザード」画面の表示にしたがって設定を行ってください。Windows起動後、[スタート]→[設定]→[プリンタ]をクリックし、[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックすると、「プリンターウィザード」を起動することができます。
プリンターの接続：パラレルコネクター（→34ページ）

⑦ Windowsの画面が表示されます。



トラックボールとクリックボタンを使った入力操作



トラックボール

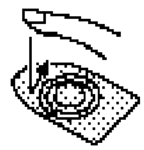
前後左右にトラックボールを回転させると、カーソルが任意の方向に動きます。

クリックボタン

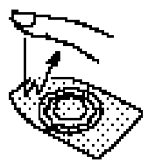
ここを押すと、メニューの選択などが行えます。前ボタンはマウスの右ボタンと同じ働きをします。後ボタンはマウスの左ボタンと同じ働きをします。

基本的な操作

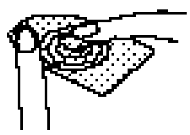
クリック　　　：後または前ボタンを押して離す。



ダブルクリック：後または前ボタンを続けて２回すばやく押して離す。



ドラッグ　　　：後または前ボタンを押したまま、トラックボールを回転する。



補足

- ２つのボタンの働きは、使用するアプリケーションソフトによって異なります。通常は後ボタンで動作します。
- 操作方法の詳細は、付属の『Windows 95 ファーストステップガイド』を参照してください。
- トラックボールの動作を詳細に設定することができます。（詳しくは60ページ）
- 本機のトラックボールは、光学式トラックボールです。
  光学式トラックボールは、通常の使いかたをしているかぎりはゴミやほこりなどによって動きが悪くなることはありません。

はじめて使うとき

お願い

Internet Explorer 4.0は機能が豊富なため、コンピューターに負担がかかり正常に動作しなくなることがあります。主な問題に対する対処法を以下にまとめています。
（問題の解決には、Internet Explorer 4.0の各ヘルプも参照してください。）

●正常に再起動できない・起動に時間がかかる
［コントロールパネル］→［画面］→［Web］タブをクリックし、「Internet Explorer チャンネルバー」の横の□をクリックしてチェックマークをはずし、［OK］をクリックする。

●アプリケーションのアップグレード（インストール）ができない
Windows起動時に表示される「ようこそ-Microsoft Internet Explorer」の画面の「次にログインするときも、このダイアログを表示する」の横の□をクリックして、チェックマークをはずしてからコンピューターを再起動する。

●正常に動作しない
［コントロールパネル］→［画面］→［背景］タブをクリックし、「壁紙」の選択で「なし」を選んで、［OK］をクリックする。

●上記の操作を行っても問題が解決しない
以下の手順で、Internet Explorer 4.0を削除する。
［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］→［セットアップと削除］で［Microsoft Internet Explorer 4.0］を選び、［追加と削除］を選ぶ。以降、画面の指示に従って操作する。

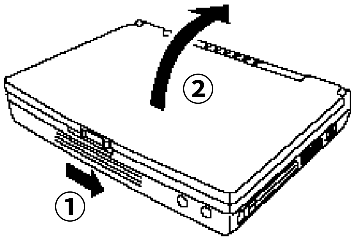
本書の表記上の約束

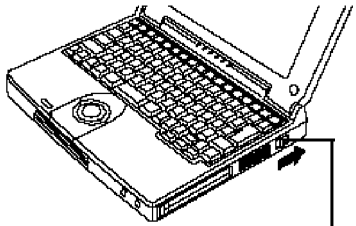
- キーの文字は、説明や操作に必要な文字だけを四角で囲んでいます。
  （例）［N み］は［N］や［み］と表記します。
- あるキーを押しながら、別のキーを押すときは、次のように「＋」を使って表記します。
  （例）［Fn］＋［F6］
- 「スタート」→[Windowsの終了]などは、[スタート]をクリックした後、[Windowsの終了]をクリックすることを意味します。
  （内容によっては、ダブルクリックが必要であったり、ポインタを置くだけでいい場合もあります。）

操作を始める

ここでは、２回目以降の操作の始めかたについて説明しています。はじめてお使いになるときは、「はじめて使うとき」をご覧ください。

1 ディスプレイを開けて、電源を入れる。





電源スイッチを後方へ約１秒間スライドし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから、手をはなす。

お願い

・電源スイッチを連続してスライドしないでください。
・電源を切った後、再び電源を入れるまで5秒以上あけてください。

●画面に「Type your password, then press Enter」と表示された場合

セキュリティー設定で設定したユーザーパスワード（→48ページ）を入力してください。

補足

パスワードの入力を3回間違えると電源が切れます。
また、サスペンド状態から復帰した場合は、入力を３回間違える、あるいは入力しないまま1分間が経過すると、再度サスペンド状態に入ります。

●ネットワークパスワードの入力画面が表示された場合

ネットワークパスワードを入力して［OK］をクリックしてください。
［キャンセル］をクリックすると、ネットワークに接続できません。

●アプリケーションやファイルがすぐに表示された場合

前回、サスペンドやハイバーネーション機能を使って操作を終えた場合（→18ページ）、そのときに表示していた画面が表示されます。

2 操作をする。

各種アプリケーションを起動し、操作を始めてください。

操作を終わる

通常の終了

1 [スタート]→[Windowsの終了]をクリックする。

キーボードを使って終了する場合

Ctrl + Esc を押してスタートメニューを表示し、[Windowsの終了]を選ぶ。

2 「電源を切れる状態にする」が選ばれていることを確認して[OK]をクリックする。

自動的に電源が切れます。

●電源を切らずに、起動しなおしたい（再起動）
[再起動する]を選んで、[OK]をクリックする。

サスペンドやハイバーネーション機能を使った終了

サスペンドやハイバーネーション機能を使うと、アプリケーションソフトを終了することなく、電源の入/切を行うことができます。電源を入れると、電源を切る前に使用していたアプリケーションソフトやファイルが画面に表示されるので、すぐに操作を始めることができます。

サスペンド機能とハイバーネーション機能の違い

	状態の保存先	立ち上がり速度	電源の供給
サスペンド機能	メモリー	速い	必要
ハイバーネーション機能	ハードディスク	やや遅い	不要

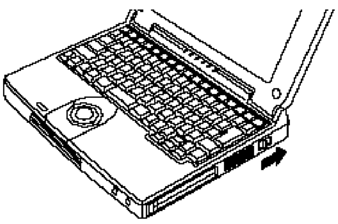
◆操作を終わる

1 サスペンド機能またはハイバーネーション機能を設定する。

①パワーマネージメント設定を起動する（→54ページ）
②[動作設定]タブをクリックする。
③[パワースイッチの動作]を[サスペンドモードにする]または[ハイバーネーションモードにする]に設定して、[OK]を押す。

2 電源スイッチを後方へスライドする。

サスペンドまたはハイバーネーション状態になります。



お願い

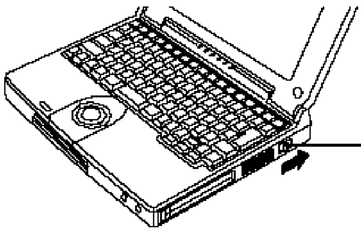
- サスペンドおよびハイバーネーション処理中はマウス、モデム、その他のシリアルデバイスには触れないでください。操作を再開したときシステムに認識されないことがあります。そのようなときには、本体を再起動するか、デバイスを初期化し直してください。
- サスペンド中にPCカード電源を切らない設定にしている場合、PCカードをセットしたままサスペンド状態に入ると、消費電力が増えることがあります。
- サスペンド機能およびハイバーネーション機能は、以下のアプリケーションプログラム動作中には使用できないことがあります。
  WindowsやMS-DOS以外のOS
  DIAG（自己診断）プログラム
- 以下の場合は、サスペンドおよびハイバーネーション機能を使わないでください。これらの機能や周辺機器が正常に動作しない場合があります。
  - 通信ソフト動作中・ネットワーク使用中
  - オーディオの録音・再生中
  - PCカード（SCSI・ATAカード）などの周辺装置の使用中
  - フロッピーディスクドライブ・ハードディスクドライブ・CD-ROMドライブなどの使用中
- バッテリーパックのみでサスペンドを行うと正常にリジュームできない場合があります。ACアダプターをつなぐか、十分充電してから電源を入れてください。
- 処理中は、リセットスイッチを押さないでください。保存されていたデータが失われます。
- ハイバーネーション機能を使用するには、内蔵ハードディスク上に、メモリーデータ書き出し用として一定のエリアが必要です。エリアは、出荷時に確保してありますが、HDDをフォーマットしたときには、領域を確保し直す必要があります。詳しくは、「各種設定を行う」の「ハイバーネーション用データエリアを作成する」（→62ページ）をご覧ください。

補足

サスペンド状態やハイバーネーション状態から次に電源を入れたときに元の状態に戻ることを「リジュームする」と言います。

使いかた

◆操作を再開する



電源スイッチを後方へ
スライドする

バックアップディスクを作成する

ハードディスクの内容が消えてしまったときなど、再インストールを行う必要が起こったときのために、必ず以下のバックアップディスク（合計19枚）を作成しておいてください。また、各種設定を行う（→59ページ）ときにも、ここで作成したバックアップディスクを使用します。

①AL-N4保存ディスク（1枚）
②Windows 95起動ディスク（1枚）
③Windows 95 CD-ROMセットアップ起動ディスク（1枚）
④各種ドライバーのバックアップディスク（2枚）
⑤Panasonicユーティリティーのバックアップディスク（3枚）
⑥MouseWare95のバックアップディスク（2枚）
⑦NIFTY Managerのバックアップディスク（9枚）

補足

上記⑥⑦以外のバックアップディスクは、何度でも作成することができます。
ただし、一度、再インストールを行った後は、作成することができません。

まず、次のものを準備してください

- I/Oボックス
- 外付けフロッピーディスクドライブ
- 2HDのフロッピーディスク19枚（別売）
  1.44Mバイトでフォーマットしておいてください。1.2Mバイトフォーマットのフロッピーディスクは使用できません。
- 「AL-N4保存ディスク」と書かれたフロッピーディスクラベル（付属）
- 「マイクロソフトウィンドウズ 95 CD-ROMセットアップ起動ディスク」と書かれたフロッピーディスクラベル（付属）
- フロッピーディスクラベル17枚（別売）

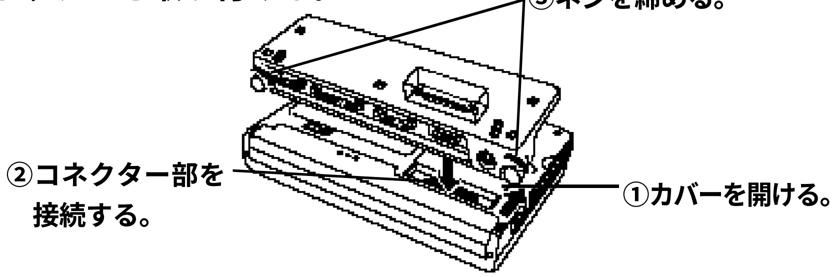
1 **操作を終わり**（→18ページ「通常の終了」）、**電源が切れたことを確認してACアダプターを取り外す。**

2 **本体を裏返す。**

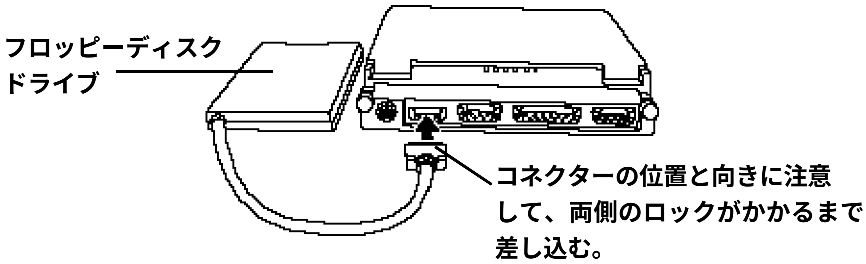
3 **別売りの大容量バッテリーパックを取り付けている場合は、取り外す。**（→25ページ）
（付属の標準バッテリーパック使用時は、取り外す必要はありません。）

使いかた

4 I/Oボックスを取り付ける。



5 外付けフロッピーディスクドライブを取り付ける。



6 ACアダプターを接続し、ディスプレイを開けて電源を入れる。

Windowsの画面が表示されます。

7 [スタート]をクリックし、[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]の順にポインタを置き、[Create System Disks]をクリックする。



補足

バックアップディスクを作成するまでは、Windowsを起動すると、指定された起動回数ごとに（標準は5回に1回）「Create System Disks」の画面が表示されます。

8 [次へ]をクリックする。

「作成するディスクセットの選択」画面が表示されます。

バックアップディスクを作成する

9 バックアップディスクを順に作成する。

「作成するディスクセットの選択」画面で、作成するディスクを選んだ後、画面の指示に従って操作してください。
「Windows 95 CD-ROM セットアップ起動ディスク」と「AL-N4保存ディスク」には、それぞれの名称が書かれた付属のラベルを貼ってください。
その他のバックアップディスクには、それぞれフロッピーディスクラベル（別売）を貼って、画面に表示される名称を書いてください。

お願い

バックアップディスク作成中にエラーが発生した場合は、「キャンセル」をクリックして「Create System Disks」を終了し、Windows 95を再起動した後、最初から操作し直してください。

10 CD-ROMのドライバーをコピーする

できあがった「Windows 95 CD-ROMセットアップ起動ディスク」にCD-ROMのドライバー（別売りのCD-ROMドライブに付属）をコピーします。

◆Panasonic CD-ROMドライブ（品番：KXL-800A-NまたはKXL-810AN）をお使いのかたは

下記の手順でコピーすることができます。

①CD-ROMドライバーの入ったフロッピーディスク（CD-ROMドライブに付属）を、フロッピーディスクドライブにセットする。
②[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
③「名前」に「C:\BACKUP\HOZON\STUP」と入力し、[OK]をクリックする。

以降はメッセージに従って操作してください。

◆上記以外のドライブをお使いのかたは

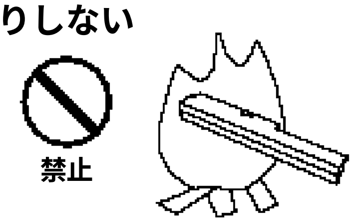
別売りのドライブに付属のフロッピーディスクから、「Windows 95 CD-ROMセットアップ起動ディスク」へ必要なドライバーをコピーし、「Windows 95 CD-ROMセットアップ起動ディスク」中のCONFIG.SYSファイルとAUTOEXEC.BATファイルの内容を書き換える必要があります。AUTOEXEC.BATファイルを書き換える際には、ハードディスクのCドライブにCABファイルをコピーするように設定している行を削除しないよう注意してください。
ドライブによってはカードマネージャー（カードサービスとソケットサービス）が必要なものもあります。詳しくは、ドライブに付属の説明書をご覧ください。

バッテリーパックを使う

外出先や会議場などコンセントのない場所でも、コンピューターをバッテリーだけで使うことができます。（稼動時間は、付属の標準バッテリーパックで約2.5時間、別売りの大容量バッテリーパックで約8時間です。）
ここでは、バッテリーパックの取り扱いについての注意事項や取り付けかた、充電のしかたなどについて説明します。

バッテリーパックに関する注意　⚠危険

火中に投入したり加熱したりしない



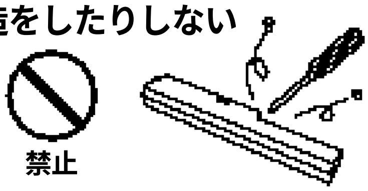
発熱・発火・破裂の原因になります。

ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない



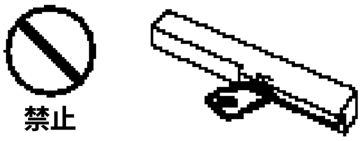
発熱・発火・破裂の原因になります。

クギで刺したり、衝撃を与えたり(変形させたり)、分解・改造をしたりしない



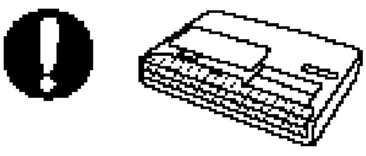
発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス(＋)とマイナス(－)を金属などで接触させない



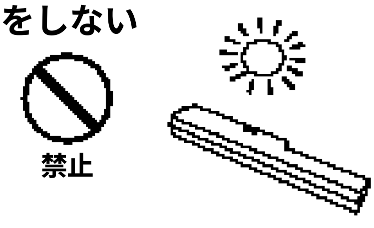
発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する



AL-N4シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

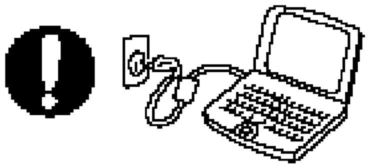


発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリーパックを使う

⚠危険

指定された方法で充電する



取扱説明書に記載された方法で充電しないと、発熱･発火･破裂の原因になります。

使いかた

取り扱い上のお願い

- バッテリーパックは一般のごみといっしょに廃棄しないでください。
端子をテープなどで絶縁してから、地方自治体の条例などに従い、廃棄してください。
- 交換用のバッテリーパックをポケットやカバンに入れて持ち運ぶときは、端子部分がショートするのを防ぐために、ビニール袋に入れることをお勧めします。
- 水などで濡らさないでください。端子がさびる原因となります。
- 端子が汚れると、接触が悪くなったり十分に充電できなかったりすることがあります。端子が汚れたときは、乾いた布、綿棒などでふいてください。
- 万一、破損によって電解液が流出し、皮膚や衣服についた場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。もし、身体に異常を感じた場合は、医師にご相談ください。

使用温度についての留意点

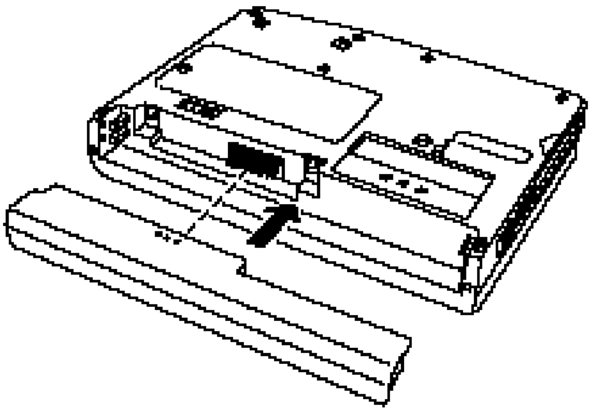
- 使用環境温度5～35°Cの範囲で操作してください。
使用環境温度が低い場合、バッテリーの駆動時間が短くなります。
- 通常の放電時にあたたかくなることがありますが、異常ではありません。

取り付けかた/取り外しかた

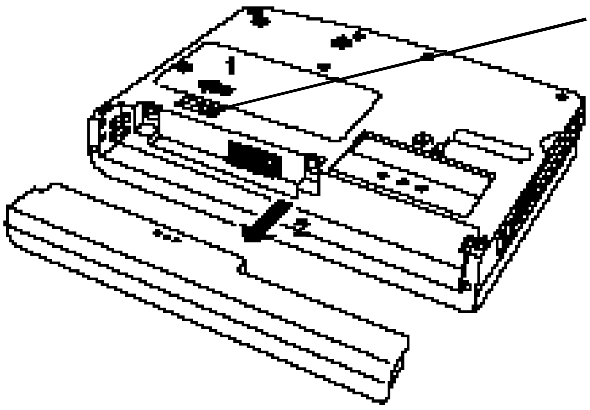
1 **操作を終わる。**(→18ページ「通常の終了」)

2 **本体を裏返す。**

3 **バッテリーパックを取り付ける。**



バッテリーパックを取り外す。



補足

別売りの大容量バッテリーパック（品番：AL-NFBL041J）をご使用になる場合も、取り付け/取り外し・充電のしかたなどは同様です。

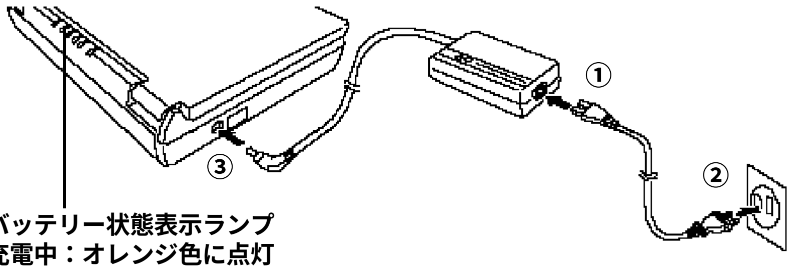
使いかた

バッテリーパックを使う

充電のしかた

付属のバッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。
コンピューター本体にバッテリーパックを取り付けた状態でACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。

1 ACアダプターを接続する。



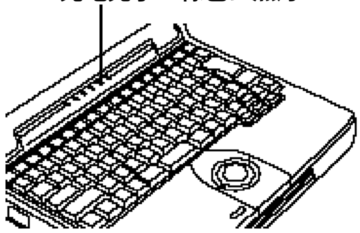
バッテリー状態表示ランプ
充電中：オレンジ色に点灯

2 充電状態を確認する。

◆充電時間(使用条件により異なります。)

		標準バッテリーパック（付属）	大容量バッテリーパック（別売）
電源	入	約5時間	約13時間
	切	約2.5時間	約6.5時間

バッテリー状態表示ランプ
充電完了：緑色に点灯



お願い

・充電中にACアダプターを抜かないでください。充電が完了(バッテリー状態表示ランプが緑色に点灯)してから抜いてください。
・バッテリーパックを長期間放置していた場合は、使用前に必ず充電してください。この場合、通常の時間で充電が終了しないことがありますが、故障ではありません。
・バッテリーパックの着脱を何度も繰り返し、その度に充電を行うと、過充電となり熱を発生します。バッテリーパックの劣化の原因となりますのでやめてください。
・バッテリーパックは消耗品です。バッテリーの駆動時間が著しく短くなり、充電を何度繰り返しても性能が回復しない場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいものと交換してください。

お願い

- 使用環境温度（5～35℃）の範囲内で充電してください。使用環境温度の範囲外では、また、使用環境温度の範囲内であっても、使用条件によりバッテリーパックの温度が高温あるいは低温になりすぎているときには、充電できない場合があります。（このとき、バッテリー状態表示ランプはオレンジ色に点滅します。）このようなときは、室温を調節したり、しばらくコンピューターの使用を控えるなどしてください。バッテリーパックの温度が範囲内に戻ると、自動的に充電が始まります。
- 充電中、バッテリー状態表示ランプが赤色に点滅した場合は、内部の保護回路が働き、充電が中止された可能性があります。このような場合は、いったん、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、再度、取り付けてください。また、このような現象が繰り返し起こる場合は、故障ということが考えられますので、お買い上げの販売店、または「ご相談窓口」にご相談ください。

バッテリー残量の確認

バッテリー残量を確認するには、バッテリー状態表示ランプで確認する方法と画面に表示されるアイコンで確認する方法があります。

◆バッテリー状態表示ランプで確認する

バッテリー状態表示ランプの状態	充電状態
オレンジ色に点灯	充電中
緑色に点灯	充電完了
赤色に点灯 （同時にアラーム音が鳴ります。）	バッテリー残量なし 充電が必要です。早急にACアダプターを接続してください。ACアダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windowsも終了して電源表示ランプが消えているのを確認してください。
オレンジ色に点滅	充電できない バッテリーパックの温度が使用環境温度の範囲外にあるため、充電できません。充電可能な温度に戻してから、再度、充電を始めてください。
赤色に点滅	バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。ACアダプターとバッテリーパックを取り外して再度正しく装着し直してください。それでも赤く点滅するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

バッテリーパックを使う

◆画面に表示されるアイコンで確認する（キー操作による残量表示）

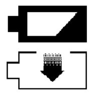
Fn キーを押しながら F9 キーを押して手を離すと、しばらくの間、画面上にバッテリーの残量を示すアイコンが表示されます。

バッテリー装着時（の一例）



78%

バッテリー未装着時



補足

- バッテリー残量が少なくなると、CPUスピードは、設定にかかわらず「25%」になります。（→50ページ）
- バッテリー残量が少なくなるとサスペンドまたはハイバーネーション状態になります*。そのような際には、ACアダプターを接続してリジュームさせてください。
（* 残量が少なくなってきたときに、サスペンド状態に入るかハイバーネーション状態に入るかは、「省電力設定」の「バッテリー設定」で設定します。（→49ページ））
- 付属の標準バッテリーパックの場合で、電源が切れている状態でも、約30 mWの電力を消費します。従って、満充電していても約20日間で放電してしまいます。

使いかた

バッテリー容量を正確に表示させるために

本機のバッテリーパックには、バッテリー容量を計測し、記憶・学習するための機能があります。この機能を正しく働かせて、バッテリー残量を正確に表示させるためには、満充電（100%に充電）した後、完全に放電させて、その後また満充電する必要があります。
以下の手順にしたがって、満充電→完全放電→満充電の操作を行ってください。
この操作は、お買い上げ後、一度、行っておけばよいものです。ただし、長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより、残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合も、再度、この操作を行ってください。

1 バッテリーパック装着後、ACアダプターを接続する。

お願い

キー操作による残量表示では、100%と表示されるのに、バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯し続ける場合があります。異常ではありませんので、そのまま緑色になるまで充電を続けてください。

2 バッテリー状態表示ランプが緑色になったら、ACアダプターを取り外す。（満充電）

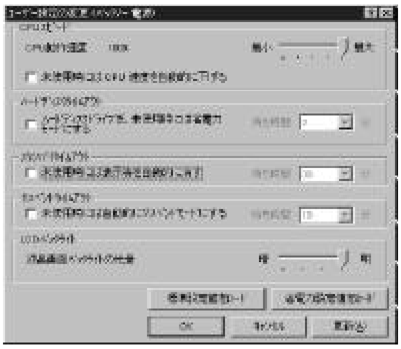
3 バッテリー残量がなくなって自動的にサスペンドまたはハイバーネーション状態に入るまで、電源を切らずに使用する。（完全放電）

●使用せずに放置しておく場合は

必ず、以下の設定を行ってください。

①「パワーマネージメント設定」の「モード設定」で、「バッテリー電源の場合」の「ユーザー設定」を選んで「設定の変更」をクリックする。

②「標準設定値をロード」をクリックした後、「スタンバイタイムアウト」の「未使用時には表示等を自動的に消す」の左横の□をクリックして、チェックマークを消す（スタンバイタイムアウトを無効に設定する）。



（「パワーマネージメント設定」について詳しくは→54ページ）

お願い

- サスペンドまたはハイバーネーション状態に入るまで、ACアダプターを接続したりパソコンの電源を切ったりしないでください。バッテリー容量を正しく計測できなくなります。
- バッテリー状態表示ランプが赤色点灯してビープ音が鳴ったり、また、バッテリー残量が残り少ないことを知らせるWindowsの警告メッセージが表示されてもそのままお使いください。

4 ACアダプターを接続して、バッテリー状態表示ランプが緑色に点灯するまで充電する。（満充電）

お願い

サスペンド状態で保存していないデータがある場合は、そのまま放置するとデータが失われます。すぐに充電を行ってください。

周辺機器を拡張する

ここでは、付属のI/Oボックスと外付けフロッピーディスクドライブや別売りの周辺機器（外部ディスプレイ、プリンターなど）の接続のしかた、PCカードやRAMモジュールのセットのしかたについて説明します。

> **お願い**
> サスペンドやハイバーネーション状態のときは、機器の取り付け・取り外しを行わないでください。機器が破損したり、正常に動作しないことがあります。

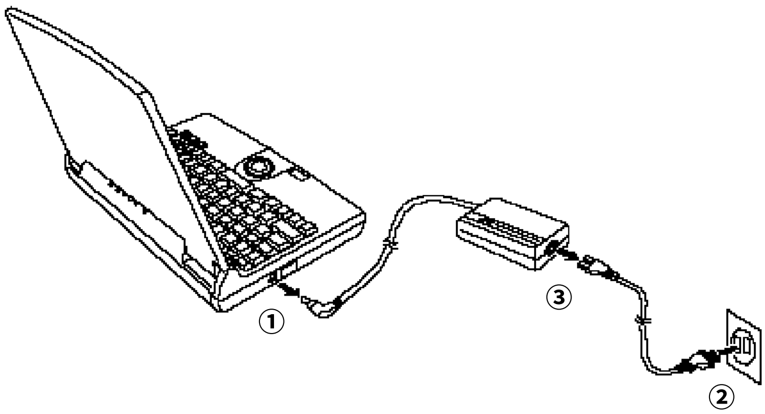
I/Oボックスを取り付ける/取り外す

外付けフロッピーディスクドライブや外部ディスプレイなどを接続するときは、まず、本体にI/Oボックスを取り付けてください。

使いかた

1 操作を終わる。(→18ページ「通常の終了」)

2 電源が切れたことを確認して、ACアダプターを取り外す。

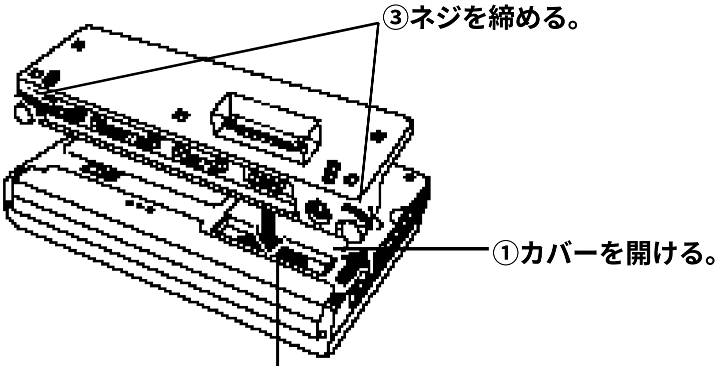


3 ディスプレイを閉じて本体を裏返す。

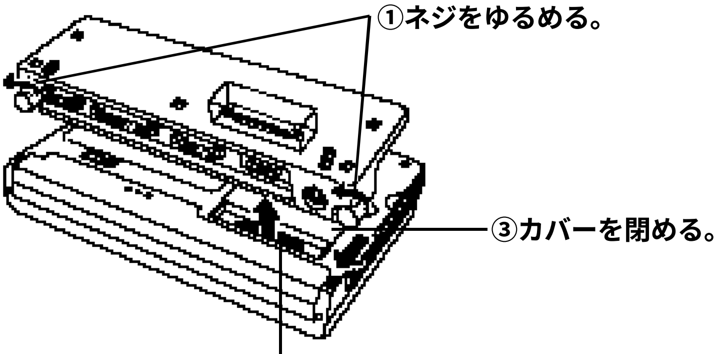
4 別売りの大容量バッテリーパックを取り付けている場合は、取り外す。(→25ページ)

（付属の標準バッテリーパック使用時は、取り外す必要はありません。）

5 I/Oボックスを取り付ける。



I/Oボックスを取り外す。



使いかた

周辺機器を拡張する

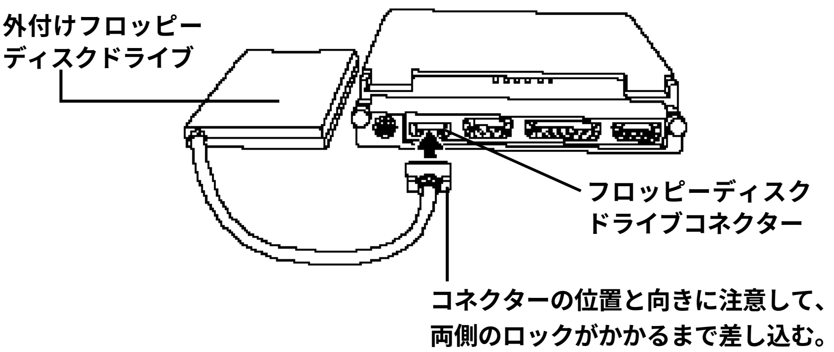
フロッピーディスクを使う

フロッピーディスクを使用するときは、付属の外付けフロッピーディスクドライブ（品番：AL-NFFE020J）を取り付けてください。

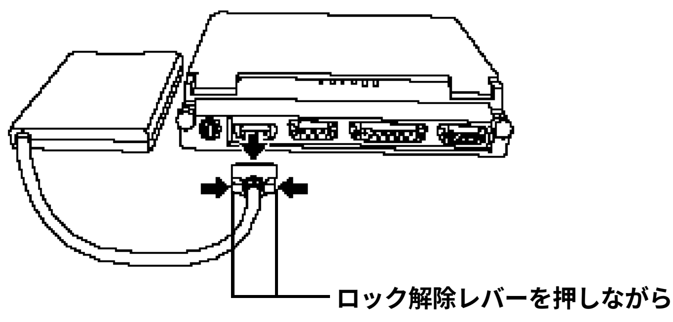
◆外付けフロッピーディスクドライブの取り付け/取り外し

1 I/Oボックスを取り付ける。(→30ページ)

2 外付けフロッピーディスクドライブを接続する。



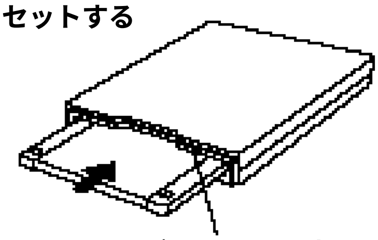
外付けフロッピーディスクドライブを取り外す。



使いかた

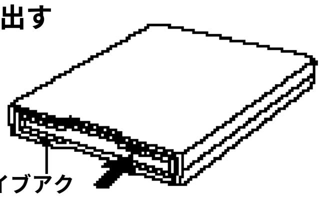
◆フロッピーディスクのセット/取り出し

セットする



フロッピーディスク取り出しボタンが飛び出すまで、確実に挿入する。

取り出す



ドライブアクセスランプが点灯していないことを確認した後、取り出しボタンを押す。

お願い

- ドライブアクセスランプ点灯中はフロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れる恐れがあります。
- フロッピーディスクドライブを持ち運ぶときや保管しておくときには、必ず、フロッピーディスクは取り出してください。

補足

- 「読み出し」・「書き込み」とは
  フロッピーディスクのデータを本体のメモリー上に送ることを「読み出し」、メモリー上のデータをフロッピーディスクに送り、記録することを「書き込み」といいます。
- フォーマット
  新しいディスクは、磁気的に区画整理する必要があります。この作業を「フォーマット」(初期化)といいます。
- 使用できるフロッピーディスクの種類と記録容量
  フロッピーディスクには「2HD」と「2DD」の２種類があります。それぞれの記憶容量は次のとおりです。
  2HD　ー　1.44 Mバイト/1.2 Mバイト
  2DD　ー　720 kバイト
  1.2 Mバイトのフロッピーディスクを読み書きするには、設定の変更をする必要があります。詳しくは、「各種設定を行う」（→59ページ）をご覧ください。

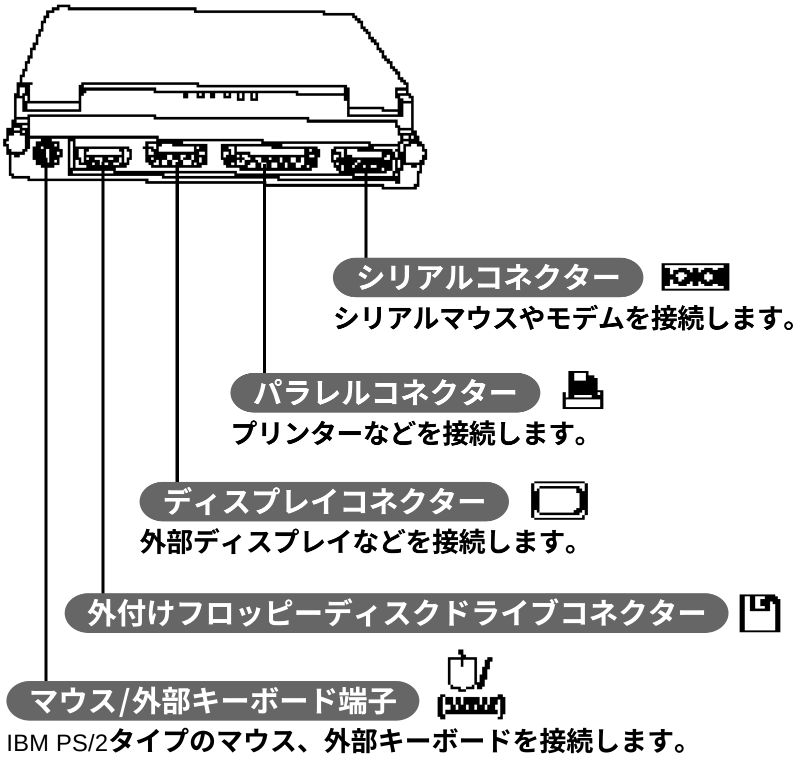
使いかた

周辺機器を拡張する

その他の周辺機器を接続する

1 I/Oボックスを取り付ける。(→30ページ)

2 各周辺機器を接続する。



補足

各周辺機器の設定・準備などについては、各周辺機器に付属の説明書をお読みください。

お願い

各周辺機器の電源を入れてから、本機の電源を入れてください。

使いかた

RAMモジュールを使う

RAMモジュールを増設すると、メモリー容量を拡張することができます。64Mバイト（品番：AL-NFMC640J）と32Mバイト（品番：AL-NFMC320J）の2種類のEDOタイプのRAMモジュールを増設することができます。

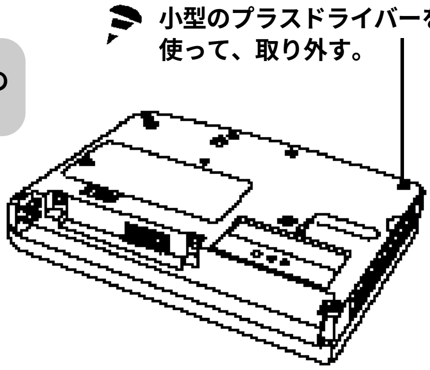
1 操作を終わる。(→18ページ「通常の終了」)

2 電源が切れたことを確認して、ACアダプターを取り外す。

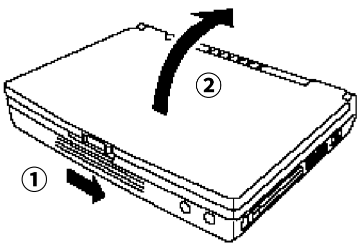
3 バッテリーパックを取り外す。(→25ページ)

4 本体裏面のネジ(1か所)を取り外す。

お願い
本体裏面には、多数のネジがありますので、ネジの位置に注意してください。



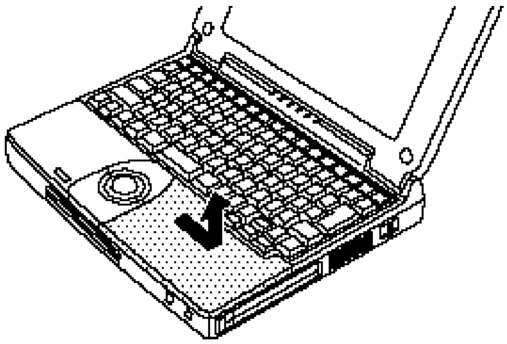
5 ディスプレイを開ける。



使いかた

周辺機器を拡張する

6 カバーを開ける。



7 RAMモジュールを取り付ける/取り外す。

取り付ける

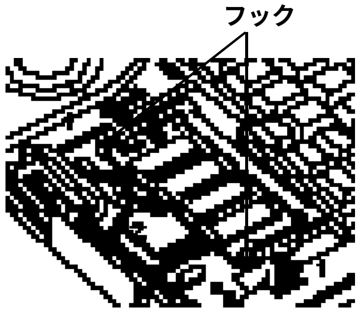
お願い

向きと角度に注意して差し込んでください。向きやミゾとの角度を間違うとうまく入りません。



フック(左右にあります)がかかり、ロックされていることを確認してください。

取り外す



8 カバーを閉じる。

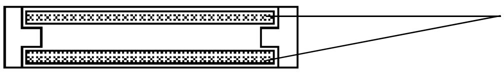
9 本体裏面のネジを締める。

ディスプレイを閉じて本体を裏返し、小型のプラスドライバーでカバーの固定ネジ（１か所）を締めます。

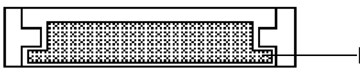
PCカードを使う

本機にはPCカード用スロットが２つあります。
PCカードを使うことにより通信機能を利用したり、SCSI機器などの周辺機器を接続することができます。
カードは厚みによってタイプⅠ（3.3mm）、タイプⅡ（5.0mm）、タイプⅢ（10.5mm）の３つの種類に分けられます。

●タイプⅠおよびタイプⅡ
同時に２枚取り付け可能



●タイプⅢ
下段スロットに１枚だけ取り付け可能



PCカード取り出しボタン



お願い

- **ご使用の前に、必ず、PCカードの消費電力を確認してください。PCカードスロットの許容電流（２スロット合計の許容電流：3.3 Vで800 mA/5 Vで600 mA）を超えて使用すると、故障の原因となりますのでご注意ください。**
- **ZVカードは、下段スロットにセットしてください。（ZVカードとは、Zoomed Videoカードの略で、動画の拡大・縮小などを行うことができます。）**
- **12Vの電源を必要とするPCカードは使用できません。**

周辺機器を拡張する

◆PCカード（またはダミーカード）のセット／取り出し

取り出す

取り出す前に、PCカードの使用を終了する

Windowsのタスクバーの右下にあるPCカードアイコンをダブルクリックし、「PCカード（PCMCIA）のプロパティ」画面で取り出すPCカードを選んで、［終了］をクリックする。

①取り出しボタンの折れ曲がり部分を伸ばす。



②取り出しボタンを押す。

カードが少し出てきますので、取り出してください。



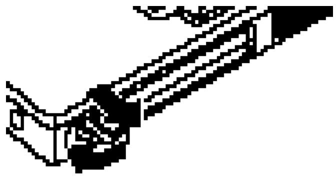
セットする

①カードをPCカードスロットにしっかりと差し込む。

取り出しボタンが飛び出ます。



②取り出しボタンを完全に引き出してから、折り曲げる。



補足

お買い上げ時にはダミーカードがセットされています。
ほこりや異物がスロット内に入るのを防ぐため、PCカードを取り出した後は、ダミーカードをセットしてください。

赤外線通信をする

本機の赤外線通信ポートを使うと、赤外線通信機能を持ったほかのコンピューターとケーブルを接続することなく通信することができます。
ここでは、Windowsの「ケーブル接続」機能を使って、赤外線通信を行う場合を例にして説明しています。

1 **互いのコンピューター上で、赤外線通信ポートを使用可能に設定しておく。**

本機では、「システム詳細設定」の「赤外線ポート」でアドレスを設定し、「赤外線ポート：動作モード」を「IrDA」に設定する。（→44、45ページ）

2 **Windows 95の赤外線通信ドライバーをインストールする。**

お願い

一度、再インストールを行った後、赤外線通信ドライバーをインストールする場合手順⑧の操作の後、「Windows 95 CD-ROM」（付属）をセットする必要がありますので、あらかじめPCカード対応のCD-ROMドライブ（別売*）を接続しておいてください。（接続のしかたについて詳しくは、CD-ROMドライブに付属の説明書をご覧ください。）

*推奨品　Panasonic CD-ROMドライブ
品番：KXL-800A-N または KXL-810AN

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[ハードウェア]アイコンをダブルクリックする。
②「ハードウェアウィザード」が起動したら、[次へ]をクリックする。
③「新しいハードウェアを自動的に検出しますか？」というメッセージが表示されたら、[いいえ]を選んで[次へ]をクリックする。
④「ハードウェアの種類」で[赤外線]を選び、[次へ]をクリックする。
⑤「赤外線デバイスウィザード」が起動したら、[次へ]をクリックする。
⑥「製造元」で「スタンダード赤外線デバイス」を選び、[次へ]をクリックする。
⑦ポートの選択画面で[一般の赤外線シリアルポート(COM2)]を選び、[次へ]をクリックする。
⑧[標準のポートを使用]を選び、[次へ]をクリックする。
赤外線通信ドライバーがセットアップされます。
⑨[完了]をクリックする。

赤外線通信をする

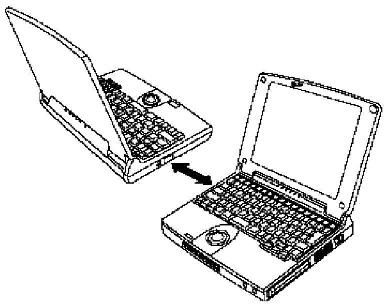
3 ケーブル接続をインストールする。

①「コントロールパネル」の［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックし、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面が表示されたら［Windowsファイル］タブをクリックする。
②「ファイルの種類」の［通信］をダブルクリックし、「ケーブル接続」の左横の□をクリックしてチェックマークを付ける。
③「ケーブル接続とそれに必要なすべてのファイルを追加しますか？」というメッセージが表示されたら［はい］をクリックして、［OK］をクリックする。
④［OK］をクリックする。
ファイルのコピーが始まります。以降はメッセージにしたがって操作してください。途中、「バージョンの競合」画面が表示されたら、［はい］をクリックしてください。

4 互いのコンピューターを赤外線通信が行えるように設置する。

設置時に気をつけること

- お互いのポートが真正面に向きあうように設置する。
- ポート間の距離を20〜50cmの範囲に設置する。
- ACアダプター接続時は、プラグ部分がポートにかからないようにする。



補足

以下のような場合うまく通信できません。
- お互いのポート間に障害物があるとき
- 近くでテレビ、ビデオ、ワイヤレス・ヘッドホン、ストーブなどが動作しているとき
- 直射日光や蛍光燈、白熱灯などの光がポートにあたっているとき

5 赤外線通信を行う。

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[ケーブル接続]を起動して、通信を行う。
（ケーブル接続については［スタート］→［ヘルプ］をご覧ください。）

6 赤外線通信を終了する。

[ケーブル接続]画面で、[閉じる]をクリックする。

動作環境を設定する

ここでは、動作環境を設定するためのユーティリティー（セットアップユーティリティー）について説明します。

セットアップユーティリティーを起動する

1 **Windowsを終了して再起動する。**

[スタート]→[Windowsの終了]をクリックし、[再起動する]を選んで[OK]をクリックする。

2 **「Press F1 for Setup」が表示されているときに F1 を押す。**

> **補足**
>
> **F1 を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティーは起動しません。その場合は、Windowsを終了して再度やり直してください。**

セットアップユーティリティー

- **システム設定** ―― **43ページ**
- **システム詳細設定** ―― **44ページ**
- **ビデオ設定** ―― **46ページ**
- **セキュリティー設定** ―― **48ページ**
- **省電力設定** ―― **49ページ**

設定を保存する ―― **変更した内容を一時的に記憶します。ここで保存しても、実際に設定が変更されるわけではありません。設定を変更するには、終了の際に保存操作を行ってください。**

設定を戻す ―― **セットアップユーティリティー起動時の状態、または「設定を保存する」で一時的に記憶されている状態に戻します。**

デフォルト設定 ―― **すべての設定を標準の状態に戻します。**

終了

動作環境を設定する

セットアップユーティリティーのキー操作

下記のキーのうち、画面下側に表示されているものが使用できます。

F1	:操作方法が画面に表示されます
↑ ↓	:カーソルが上下に移動します。項目を選ぶときに使用します。
→	:各項目で設定値を選ぶときに使用します。 次の候補を表示します。
←	:各項目で設定値を選ぶときに使用します。 一つ前の候補を表示します。
F9	:各項目の設定値を変更前の状態に戻します。
F10	:各項目の設定値を標準の状態に戻します。
Esc	:一つ前の画面に戻ります。 セットアップユーティリティーの初期画面で押すと、セットアップユーティリティーを終了します。
Enter	: ↑ ↓ で項目を選んだ後に押すと、各設定項目のサブメニュー画面が表示されます。

使いかた

セットアップユーティリティーを終了する

1 [終了]を選び Enter を押す。

2 設定を保存して終了するか、保存せずに終了するかを選び、Enter を押す。

コンピューターが再起動し、Windowsが起動します。

補足

ユーザーパスワードを設定している（→48ページ）場合は、Windowsが起動するまでに、パスワードの入力が必要になります。

システム設定

セットアップユーティリティーを起動して（→41ページ）、[システム設定]を選んで Enter を押す。

デフォルト設定時の画面例

システム設定	
NumLK	[オフ]
トラックボール	[有効]
BIOS確認音	[有効]
起動ドライブ	[FDD→HDD]

起動ドライブ：システムを起動するドライブを設定します。

BIOS確認音：起動時、サスペンド時、ハイバーネーション時に確認音（ピッ）を鳴らすかどうかを設定します。

トラックボール：トラックボールを使用するかどうかを設定します。外部マウスが正常に動作しない場合は、[無効]に設定してください。

NumLK：起動時にテンキー（キー上に青色で印刷された数字など）による入力を有効にするかどうかを設定します。

動作環境を設定する

システム詳細設定

セットアップユーティリティーを起動して（→41ページ）、[システム詳細設定]を選んで Enter を押す。

デフォルト設定時の画面例

システム詳細設定	
デバイス制御モード	[手動設定]
PC Card動作モード*	[PCIC互換モード]
パラレルポート	[378h, IRQ 7]
動作モード*	[双方向]
DMA	[DMA 0]
赤外線ポート	[2F8h, IRQ 3]
動作モード*	[IrDA]
シリアルポート	[3F8h, IRQ 4]
サウンドポート*	[有効]
Sound Blaster互換I/O	[220h]
WSS CODEC I/O	[530h]
IRQ	[IRQ 5]
DMA-A	[DMA 3]
DMA-B (Sound Blaster)	[DMA 1]

[サウンドポート]
サウンドチップ動作を設定します。[無効]を選ぶと、サウンドに関する設定はすべて無効になります。

[サウンドポート：Sound Blaster互換I/O]
Sound Blaster互換モードのI/Oアドレスを設定します。

[サウンドポート：WSS CODEC I/O]
WSS CODECのI/Oアドレスを設定します。

[サウンドポート：IRQ]
サウンドチップのIRQを設定します。
パラレルポートと同じIRQは選ぶことができません。

[サウンドポート：DMA-A] [サウンドポート：DMA-B]
サウンドチップのDMAを設定します。お互いに、またパラレルポートのDMAと重ならないように設定してください。

使いかた

デバイスの制御を[手動設定]で行うか[プラグ＆プレイ]で行うかを設定します。プラグ＆プレイをサポートしていないオペレーティングシステムを使用する場合は、必ず[手動設定]を選んでください。
[手動設定]の場合は、この画面で設定した内容が有効になります。
また、[プラグ＆プレイ]の場合でも、＊印のついた項目については、その設定内容が有効になります。

PC Cardコントローラーの動作モードを設定します。
CardBusモードで動作するカードを使用する場合のみ[CardBusモード]に設定してください。

パラレルポートのアドレスを設定します。
サウンドポートのIRQと重なった場合、自動的にサウンドポートIRQを別のIRQに変更します。

パラレルポートの動作モードを設定します。
[EPP]および[ECP]モードは、パラレルポート設定が[278]か[378]のときのみ選択することができます。

[パラレルポートの動作モード]を[ECP]に設定した場合のDMAチャネルを設定します。
[サウンドポート：DMA-A]や[サウンドポート：DMA-B]と重ならないように設定してください。

[赤外線ポート]
　赤外線ポートのアドレスを設定します。
　シリアルポートのアドレスと重なった場合は、自動的にシリアルポートのアドレスを別のアドレスに変更します。
[赤外線ポート：動作モード]
　赤外線ポートの動作モードを設定します。
　赤外線通信を行う場合は、[IrDA]に設定してください。

シリアルポートのアドレスを設定します。
赤外線ポートのアドレスと重なった場合、自動的に赤外線ポートのアドレスを別のアドレスに変更します。

動作環境を設定する

ビデオ設定

セットアップユーティリティーを起動して（→41ページ）、[ビデオ設定]を選び Enter を押す。

デフォルト設定時の画面例

ビデオ設定	
ディスプレイ	[外部ディスプレイ]
テキスト拡張表示	[無効]
グラフィックス拡張表示	[無効]

グラフィックス拡張表示：日本語DOSモードなど、グラフィックスモードで640×480サイズ以下の画面をLCDいっぱいに拡張して表示したい場合は、[有効]にします。

テキスト拡張表示：英語DOSモードなど、グラフィックスモードで640×480サイズ以下の画面をLCDいっぱいに拡張して表示したい場合は、[有効]にします。

ディスプレイ：起動時、どのディスプレイに表示するかを[内部LCD][外部ディスプレイ][同時表示]の中から選びます。

補足

[外部ディスプレイ]や[同時表示]に設定していても、起動時に外部ディスプレイが接続されていない場合は、内部LCD表示となります。

◆表示可能な解像度・色数

	ディスプレイ設定		
	外部モニター	内部LCD	同時表示
640×480　16色	○	○*1	○*1
640×480　256色	○	○*1	○*1
640×480　65,536色（High Color）	○	○*1	○*1
640×480　16,777,216色（True Color）	○	○*1*3	○*1*3
800×600　256色	○	○	○
800×600　65,536色（High Color）	○	○	○
1024×768　256色	○	○*2	○*2

*1内部LCDには、画面の中央に小さく表示されます。

*2内部LCDには、画面全体の一部（800×600の範囲）が表示されます。

*3内部LCDには、262,144色までの表示が可能です。

使いかた

動作環境を設定する

セキュリティー設定

セットアップユーティリティーを起動して（→41ページ）、[セキュリティー設定]を選び Enter を押す。もう一度 Enter を押す。

ユーザーパスワード	
新しいユーザーパスワードを２回入力してください。	
ユーザーパスワード入力	[　　　　]
ユーザーパスワード再入力	[　　　　]
ユーザーパスワード登録（変更）	
ユーザーパスワード削除	

コンピューターを無断で使用されたくない場合などには、ユーザーパスワードを設定します。

◆パスワードを新規に登録する、または既に登録しているパスワードを変更するには

1 [ユーザーパスワード入力]の[　　　　]欄にパスワードを入力する。

2 [ユーザーパスワード再入力]の[　　　　]欄に手順*1*で入力したパスワードを入力する。

3 [ユーザーパスワード登録（変更）]を選び Enter を押す。

4 確認して Enter を押す。

◆登録しているパスワードを無効にする

1 [ユーザーパスワード削除]を選び Enter を押す。

2 確認して Enter を押す。

補足

パスワードとして入力可能な文字は、半角の英数記号（\、\、}、]を除く）で、最大７文字までです。

使いかた

省電力設定

セットアップユーティリティーを起動して（→41ページ）、[省電力設定]を選んで Enter を押す。
「パワーマネージメント設定」からも同様の設定を行うことができます。（→54ページ）

デフォルト設定時の画面例

省電力設定		
・バッテリーモード 省電力設定		50ページ
・ACモード 省電力設定		52ページ
・リジュームタイマー		52ページ
動作設定：		53ページ
パワースイッチ	[サスペンド]	
パネルスイッチ	[LCDオフ]	
サスペンドメニュー	[サスペンド]	
PCカード電源	[オン]	
自動ハイバーネーション	[無効]	
バッテリー設定：		53ページ
残量が少ないとき	[サスペンド]	

使いかた

◆バッテリーモード省電力設定

[バッテリーモード省電力設定]を選んで Enter を押す。

デフォルト設定時の画面例

バッテリーモード 省電力設定	
省電力モード	[省電力　　　]
CPUスピード	２５%
CPUスピード チェンジモード	有効
スタンバイ タイムアウト	２分
サスペンド タイムアウト	１０分
HDDモーター タイムアウト	２分
LCDバックライト	省電力

<省電力モード>

バッテリーで使用するときの省電力モードを設定します。

「標準」「省電力」「ユーザー設定」より選択します。「標準」を選択すると処理速度重視の設定に、「省電力」を選択すると消費電力重視の設定になります。「ユーザー設定」を選択すると、各項目を下表の中から設定できます。これらの設定は､ホットキー（Fn ＋ F6）で一時的に変更することができますが、起動時にはここで設定した内容で動作します。

	標準	省電力	ユーザー設定
CPUスピード	100%	25%	100%､75%､50%､25%､12.5%
CPUスピードチェンジモード	無効	有効	有効、無効
スタンバイタイムアウト	30分	２分	1分､2分､5分､10分､15分､30分､無効
サスペンドタイムアウト	無効	10分	1分､2分､5分､10分､15分､30分､無効
HDDモータータイムアウト	無効	２分	1分､2分､5分､10分､15分､30分､無効
LCDバックライト	明	省電力	明、中、暗、省電力*

*「省電力」に設定すると、「暗」よりももう一段階暗くなります。

CPUスピード

CPUの動作速度を設定します。

CPUスピードチェンジモード

一定時間、キーボード・マウス・トラックボールの入力やHDD・FDD・シリアルポート・パラレルポートなどのアクセスがなければ、CPUをストップする機能です。入力やアクセスが発生すると、CPUは元のスピードに戻ります。Windows使用中はこの設定を無視して、より効率的な節電方法が行われます。

スタンバイタイムアウト

設定した時間、キーボード・マウス・トラックボールの入力や、HDD・FDD・シリアルポートなどのアクセスがなければ、HDDモーターを止めて、LCDバックライトを消す機能です。入力やアクセスがあると、ディスプレイの表示が元に戻ります。

サスペンドタイムアウト

設定した時間、キーボード・マウス・トラックボールの入力や、HDD・FDD・シリアルポート・パラレルポートのアクセスがなければ、自動的にサスペンド状態またはハイバーネーション状態に入る機能です。

HDDモータータイムアウト

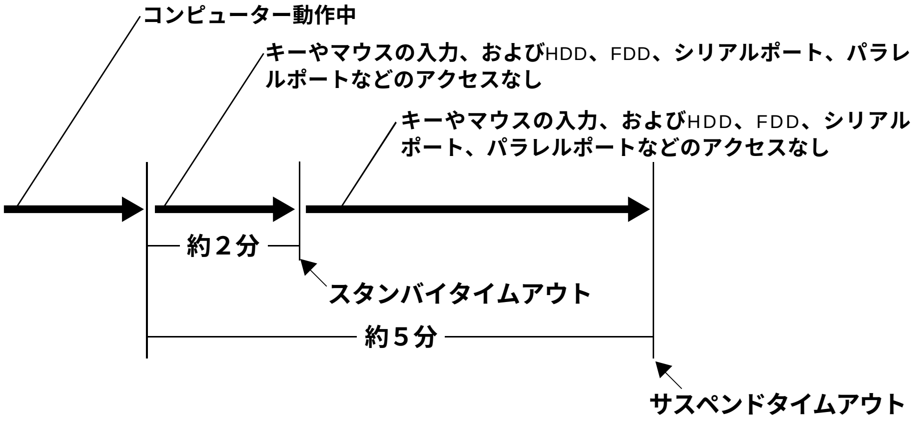
設定した時間、HDDにアクセスがなければ、HDDモーターを停止する機能です。アクセスがあるとHDDは元の状態に戻ります。

LCDバックライト

バッテリーで使用するときのLCDバックライトの輝度を設定します。暗くするほど消費電力は小さくなります。

スタンバイタイムアウトとサスペンドタイムアウトの両方が設定されている場合は、スタンバイ状態に入った後、サスペンドまたはハイバーネーション状態になります。

（例）スタンバイタイムアウト：約２分
　　　サスペンドタイムアウト：約５分



使いかた

動作環境を設定する

◆ACモード省電力設定

[ACモード省電力設定]を選んで Enter を押す。

デフォルト設定時の画面例

ACモード 省電力設定		
省電力モード		[標準]
CPUスピード	100%	
CPUスピード チェンジモード	無効	
スタンバイ タイムアウト	30分	
サスペンド タイムアウト	無効	
HDDモーター タイムアウト	無効	
LCDバックライト	明	

＜省電力モード＞

ACアダプター接続時の省電力モードを設定します。
「標準」「省電力」「ユーザー設定」により選択します。「標準」を選択すると処理速度重視の設定に、「省電力」を選択すると消費電力重視の設定になります。「ユーザー設定」を選択すると、各項目を選択肢から設定できます。これらの設定は、ホットキー（Fn ＋ F6）で一時的に変更することができますが、起動時にはここで設定した内容で動作します。
各項目の設定については、「バッテリーモード省電力設定」と同じです。50ページの表をご覧ください。

◆リジュームタイマー

[リジュームタイマー]を選んで Enter を押す。
設定した時刻にサスペンドモードから復帰する機能です。「有効」「無効」から選択し、「有効」を選択した場合は復帰する時刻を入力します。
デフォルト設定は無効です。

お願い

- 「パネルスイッチ」が「サスペンド」に設定されていて（→49ページ）、LCDパネルが閉じられている場合にはこの機能は働きません。リジュームタイマーを使用するときは「パネルスイッチ」の設定を「LCDオフ」にするか、LCDパネルを開けておいてください。
- リジュームタイマー機能は、ハイバーネーションモードからは復帰できません。「自動ハイバーネーション」機能を設定している場合、一定時間でハイバーネーションモードに入るため、設定時刻に復帰できないことがあります。

◆動作設定

＜パワースイッチ＞
電源オン時に、コンピューターの電源スイッチを押したときの動作を設定します。「パワーオフ」「サスペンド」「ハイバーネーション」から選択します。

＜パネルスイッチ＞
パネルを閉じたときの動作を「LCDオフ」「サスペンド」から選択します。
「サスペンド」を選択してLCDを閉じると、サスペンド状態になって電源表示ランプが消えます。LCDを開くとリジュームします。電源スイッチでリジュームさせることはできません。Windowsなど、独自で省電力を制御するシステムでは、サスペンドできない場合もあります。

お願い

「サスペンド」に設定している場合、電源表示ランプが消灯するまで（完全にサスペンド状態に入るまで）はディスプレイを開けないでください。
途中でディスプレイを開けると、サスペンド状態に入ったままリジュームできなくなる場合があります。その場合は、再度ディスプレイを閉じた後、数秒たってからディスプレイを開けてください。

＜サスペンドメニュー＞
Windows 95の[スタート]→[サスペンド]をクリックしたときの動作を設定します。「サスペンド」「ハイバーネーション」から選択します。

＜PCカード電源＞
サスペンド状態でのPCカードの電源の状態を設定します。「オフ」を選択すると、サスペンド中はPCカードの電源が強制的にオフ状態になります。カードによっては、次回コンピューターの電源を入れたときに正常に動作しないことがあります。

＜自動ハイバーネーション＞
サスペンド状態になってから、自動的にハイバーネーション状態になるまでの時間を設定します。「無効」「５分」「10分」「30分」「60分」「120分」から選択します。この機能はサスペンド状態になってから動作します。

◆バッテリー設定

＜残量が少ないとき＞
バッテリー残量が少なくなって、これ以上動作を継続できなくなった場合、サスペンド状態に入るか、ハイバーネーション状態に入るかを設定します。

動作環境を設定する

「パワーマネージメント設定」を起動する

「パワーマネージメント設定」では、セットアップユーティリティーの「省電力設定」と同じ設定を行うことができます。
Windows上で設定を行うことができ、設定後も再起動する必要がないので便利です。

Windowsの[スタート]メニューから、[プログラム]→[Panasonic]を選んで[パワーマネージメント設定]をクリックする。

◆モード設定

[モード設定]タブをクリックすると以下の画面が表示されます。

デフォルト設定時の画面例



設定値を標準（デフォルト）の状態に戻す

＜AC電源の場合＞

ACアダプター接続時の省電力モードを選択します。「標準」を選択すると、処理速度重視の設定になります。「省電力」を選択すると、消費電力重視の設定になります。「ユーザー設定」を選択すると、[設定の変更]ボタンが有効になり、詳細に設定を行うことができます。これらの設定は、ホットキー（Fn ＋ F6）で一時的に変更することができますが、コンピューター起動時にはここで設定した内容で動作します。

＜バッテリー電源の場合＞

バッテリーで使用時の省電力モードを選択します。「標準」を選択すると、処理速度重視の設定になります。「省電力」を選択すると、消費電力重視の設定になります。「ユーザー設定」を選択すると、[設定の変更]ボタンが有効になり、詳細に設定を行うことができます。これらの設定は、ホットキー（Fn ＋ F6）で一時的に変更することができますが、コンピューター起動時にはここで設定した内容で動作します。

＜[設定の変更]ボタン＞

省電力機能を詳細に設定するときにクリックします。このボタンはAC電源の場合、バッテリー電源の場合ともそれぞれユーザー設定を選択しているときにクリックできます。



CPU動作速度	CPUの動作速度を「100%」、「75%」、「50%」、「25%」、「12.5%」から選択します。

使いかた

動作環境を設定する

未使用時にはCPU速度を自動的に下げる	一定時間、キーボード・マウス・トラックボールの入力や、HDD・FDD・シリアルポート・パラレルポートなどのアクセスがなければ、CPUがストップする機能です。入力やアクセスが発生すると、CPUは元のスピードに戻ります。キーやマウスの入力待ちのような場合、節電のためにCPUの動作を停止させます。Windowsを使用しているときは、より効率的な節電方法が行われるため、この設定は無視されます。
ハードディスクタイムアウト	設定した時間、HDDにアクセスがなければ、HDDモーターを停止する機能です。アクセスが発生するとHDDは元の状態に戻ります。有効にするには、チェックボックスをチェックし、実行までの待ち時間を選択します。
スタンバイタイムアウト	設定した時間、キーボード・マウス・トラックボールの入力や、HDD・FDD・シリアルポート・パラレルポートなどのアクセスがなければ、ディスプレイをオフし、スタンバイモードに入る機能です。入力やアクセスが発生すると、ディスプレイの表示は元に戻ります。有効にするには、チェックボックスをチェックし、実行までの待ち時間を選択します。
サスペンドタイムアウト	設定した時間、キーボード・マウス・トラックボールの入力や、HDD・FDD・シリアルポート・パラレルポートなどのアクセスがなければ、サスペンドする機能です。有効にするには、チェックボックスをチェックし、実行までの待ち時間を選択します。「動作設定」の「パワースイッチの動作」を「ハイバーネーションモードにする」に設定しているとハイバーネーション状態に入ります。
LCDバックライト	ACアダプターを接続して使用するときのLCDバックライトの輝度を、4段階（明、中、暗、省電力）から選択します。暗くするほど消費電力は少なくなります。
[標準設定値をロード]ボタン	ユーザー設定の各項目に、モード設定で標準を選択したときの値を設定します。
[省電力設定値をロード]ボタン	ユーザー設定の各項目に、モード設定で省電力を選択したときの値を設定します。

◆動作設定

[動作設定]タブをクリックすると以下の画面が表示されます。



設定値を標準（デフォルト）の状態に戻す

＜パワースイッチの動作＞

コンピューターの電源スイッチを押したときの動作を「サスペンドモードにする」「ハイバーネーションモードにする」「電源を切る」から選択します。

＜[スタート]メニュー[サスペンド]コマンドの動作＞

Windows**の[スタート]→[サスペンド]をクリックしたときの動作を「サスペンドモードにする」「ハイバーネーションモードにする」から選択します。**

＜パネルを閉じたときの動作＞

LCD**パネルを閉じたときの動作を選択します。「サスペンドモードにする」を選択して**LCD**パネルを閉じると、サスペンド状態になり、電源表示ランプが消えます。**LCD**パネルを開くとリジュームします。電源スイッチでリジュームさせることはできません。**Windows**など、独自で省電力を制御するシステムでは、サスペンドモードにできない場合もあります。**

お願い

「サスペンドモードにする」に設定している場合は、電源表示ランプが消灯するまで（完全にサスペンド状態に入るまで）はディスプレイを開けないでください。途中でディスプレイを開けると、サスペンド状態に入ったままリジュームできなくなる場合があります。その場合は、再度ディスプレイを閉じた後、数秒たってからディスプレイを開けてください。

動作環境を設定する

＜サスペンドモードからハイバーネーションモードへの移行＞
サスペンド状態になってから、自動的にハイバーネーション状態になるまでの時間を設定します。有効にするには、チェックボックスをチェックし、実行までの待ち時間を「５分」「10分」「30分」「60分」「120分」から選択します。

＜サスペンドモード時にはPCカード電源をオフする＞
サスペンドモードのときのPCカードの電源の状態を設定します。チェックボックスをチェックすると、サスペンド中はPCカードの電源が強制的にオフになります。そのような場合は、もう一度カードをセットし直してください。

使いかた

◆バッテリー設定

[バッテリー設定]タブをクリックすると､以下の設定を行うことができます。
＜バッテリー残量が少なくなったときの動作＞
バッテリー残量が少なくなって、これ以上動作を継続できなくなった場合、サスペンド状態に入るか、ハイバーネーション状態に入るかを設定します。

◆リジュームタイマー

[リジュームタイマー]タブをクリックするとサスペンドから自動的に復帰する時刻を設定することができます。

お願い

- 「パネルを閉じたときの動作」が「サスペンドモードにする」に設定されていて（→57ページ）、LCDパネルが閉じられている場合にはこの機能は働きません。リジュームタイマーを使用するときは、「パネルを閉じたときの動作」を「LCDオフにする」に設定するか、LCDパネルを開けておいてください。
- リジュームタイマーを設定していても、ハイバーネーションモードからは復帰できません。「自動ハイバーネーション」機能を設定すると、一定時間でハイバーネーションモードに入るため、設定時刻に復帰できないことがあります。

各種設定を行う

ここでは、次の設定方法について説明します。
・1.2Mバイトのフロッピーディスクの読み書きができるようにする
・トラックボールの詳細設定をする
・PC Cardの動作モードを切り替える
・ハイバーネーション用データエリアを作成する

設定を行う前に、あらかじめ作成しておいたバックアップディスクを準備してください。（→20ページ）
また、外付けフロッピーディスクドライブを接続しておいてください。（→32ページ）

1.2Mバイトのフロッピーディスクの読み書きができるようにする

1.2Mバイトのフロッピーディスクを読み書きする必要のあるかたは、以下の手順に従ってWindows 95用の３モードFDドライバーをインストールしてください。

1. あらかじめ作成しておいた「ドライバーディスク１」をフロッピーディスクドライブにセットする。
2. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順に選び、[ハードウェア]アイコンをダブルクリックする。
3. 「ハードウェアウィザード」画面で[次へ]をクリックする。
4. [いいえ]を選んで[次へ]をクリックする。
5. 「ハードウェアの種類」の[フロッピーディスクコントローラ]をクリックして、[次へ]をクリックする。
6. [ディスク使用]をクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して[OK]をクリックする。
7. 「パナソニック３モードフロッピーディスク(Let's noteシリーズ)」が表示されていることを確認し、[次へ]をクリックする。
8. [完了]をクリックする。
9. ディスク挿入のメッセージが表示されたら[OK]をクリックし、ファイルのコピー画面で、「ファイルのコピー元」に「A:\」と入力し[OK]をクリックする。
10. フロッピーディスクドライブから「ドライバーディスク１」を取り出し、「今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。

各種設定を行う

トラックボールの詳細設定をする

MouseWare 95をインストールすると、トラックボールの動作に関して詳細な設定ができるようになります。インストールと設定の手順は次のとおりです。

MouseWare 95のインストール

1. あらかじめ作成しておいた「MouseWare 95ディスク１」をフロッピーディスクドライブにセットする。
2. [スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
3. 「名前」に「A:\SETUP」と入力し、[OK]をクリックする。
4. インストールプログラムが起動したら、表示されるメッセージに従ってインストールしてください。最後にコンピューターを再起動する際には「MouseWare 95ディスク２」を取り出してください。

トラックボールの詳細設定

5. Windowsが起動したら、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順に選び、[マウス]をダブルクリックする。
6. 「新しいデバイス」画面が表示されたら、[はい]をクリックする。
7. 「デバイスセットアップウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
8. トラックボールの設定画面が表示されたら各設定を行う。

使いかた

補足

- 次回設定時には、MouseWare 95のインストールの操作（手順*1*～*4*）は必要ありません。手順*5*から操作してください。
- MouseWare 95をインストールすると、一部の外部マウスが正常に動作しない場合があります。問題が発生した場合は、「アプリケーションの追加と削除」で「マウスウェア」を削除してください。

PC Cardの動作モードを切り換える

セットアップユーティリティーの「システム詳細設定」で切り換えます。

Card Busモード：Card Bus対応のPCカードを使用する場合
PCIC互換モード：ZVポート対応のPCカードを使用する場合

お買い上げ時には「PCIC互換モード」に設定されています。

1. あらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク３」をフロッピーディスクドライブにセットする。
2. [スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
3. ●Card Busモードにする場合
「名前」に「A:\CARDBUS」と入力し、[OK]をクリックする。
●PCIC互換モードにする場合
「名前」に「A:\PCIC」と入力し、[OK]をクリックする。
4. DOSウインドウのタイトルバーに「完了」と表示されたら、右上の[X]をクリックしてDOSウインドウを閉じる。
5. [スタート]をクリックし、[Windowsの終了]をクリックする。
6. [電源を切れる状態にする]を選んで[OK]をクリックする。
コンピューターの電源が切れます。
7. 「ユーティリティディスク３」を取り出し、電源スイッチを入れ、F1を押してセットアップユーティリティーを起動する。（→41ページ）
8. ●Card Busモードにする場合
「システム詳細設定」で「PC Card動作モード」を「CardBusモード」に切り換える。
●PCIC互換モードにする場合
「システム詳細設定」で「PC Card動作モード」を「PCIC互換モード」に切り換える。
9. 設定を保存してコンピューターを再起動する。
●Card Busモードに切り換えた場合
Windows 95のPC Cardドライバーが「Ricoh RL5C476 CardBus Controller」になります。
●PCIC互換モードに切り換えた場合
Windows 95のPC Cardドライバーが「PCIC or compatible PCMCIA Controller」になります。

使いかた

各種設定を行う

<ZVポート対応PCカードを使用するときは>

・ZVポート対応PCカードのドライバーソフトには、本機のPC Cardコントローラー（(株)リコー製 RL5C476）に対応していないものもあります。購入時に販売店にご確認ください。ZVポート対応PCカードの操作方法は、PCカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

ハイバーネーション用データエリアを作成する

ハイバーネーション機能を使用するには、ハードディスク上にメモリーの内容を保存するためのデータエリアを確保しておく必要があります。

必要なエリア容量：メインメモリーの容量 ＋ 1.2 Mバイト

データエリアの作成には、「ファイル」として作成する方法と「領域」として作成する方法の２とおりがあります。

お買い上げ時には、約80 Mバイトの「領域」として作成されています。

●「ファイル」として作成する場合の留意点

・FAT16ファイルシステムを使用する場合に限り、ハイバーネーション用データエリアを「ファイル」として作成することができます。FAT32ファイルシステム*では、エリアを「ファイル」として作成できません。本機は、お買い上げ時には、FAT16ファイルシステムを使用するように設定されています。

*上級者向けの再インストールの手順⑨で(→68ページ)、「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」とメッセージが表示されたときにYESと答えると、FAT32と呼ばれるファイルシステムが作成されます。

・「ドライブスペース」以外の方法でディスク圧縮を行う場合、正しく動作しないことがあります。

●「領域」として作成する場合の留意点

（領域はパーティションと呼ばれる場合もあります）

・使用するファイルシステムやディスク圧縮ソフトウェアには依存しません。

・「領域」の大きさを変更するには（メモリーを増設した場合など）、ハードディスクの内容をすべて消去してから再インストールする必要が生じます。消去する前に、バックアップを取るなど注意が必要です。

◆データエリアの作成のしかた

お願い

- HBUTIL.EXEは「AL-N4保存ディスク」から実行してください。Windowsの「MS-DOSプロンプト」などから実行すると、正常に起動しません。
- データエリアの作成や削除などを行った後は、すぐに再起動してください。

1. あらかじめ作成しておいた「AL-N4保存ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットして、コンピューターを起動する。
2. 「A:\>」に続けて「HBUTIL　＊」と入力し、Enter を押す。
   「＊」には下記のオプションの文字を入力します。コマンドとオプションの間は、1スペース空けて入力してください。

オプション	内容
P［サイズ］	ハイバーネーション用データエリアを「領域」として作成します。 [サイズ]にはメインメモリーの容量をメガバイト単位で指定します。[サイズ]を省略すると、現在の実装メモリーに従って領域を作成します。 [サイズ]に0を指定すると、ハイバーネーション用の「領域」を削除することができます。 （例）HBUTIL　P　48 メインメモリーが48Mバイト（標準メモリー＋32Mバイト RAMモジュール装着時）以下の状態でハイバーネーションを実行するための領域を作成します。
F	現在の実装メモリーに従って、ハイバーネーション用データエリアを「ファイル」(C:\HIBER.DAT)として作成します。 このファイルを消すと、ハイバーネーションを実行できなくなります。
D	「ファイル」として作成されたハイバーネーション用データエリアを削除します。
I	ハイバーネーション用データエリアに関する情報を表示します。

3. 処理が終了したら Alt ＋ Ctrl ＋ Del を押してコンピューターを再起動する。

使いかた

＜エラーメッセージ＞

画面表示	原因・対策
まだディスクに領域管理情報が書き込まれていません。	何らかの理由で、領域の管理情報が存在しません。FDISKコマンドで領域の管理情報を初期化する必要があります。 まず、FDISK /MBRコマンドを実行し、続いてもう一度FDISKコマンドを実行して、存在している「基本MS-DOS領域」を削除してください。 再起動の後、もう一度、HBUTILコマンドを実行してください。
十分な容量を持った空き領域が見つかりませんでした。	ハイバーネーション用データエリアを「領域」として作成するためには、十分な容量を持った空き領域が必要になります。 既存の領域を削除するなどして、空き領域を作成してください。
このファイルシステムにハイバーネーション用ファイルを作成することはできません。	ファイルシステムがまだ初期化されていないか、あるいはFAT16ではありません。 FAT32などでハイバーネーションを実行するためにはハイバーネーション用データエリアは「領域」として作成する必要があります。
ドライブCの空き容量が足りません。	指定されたドライブの不要なファイルを整理し、空き領域を作ってください。

再インストールする

ハードディスクが壊れたり、内容を消去してしまった場合など、もう一度プログラムをインストールすることができます。ただし、一部、再インストールできないプログラムもあります。

再インストールの準備

1 下記のものを準備する。

- あらかじめ作成しておいたバックアップディスク（→20ページ）
- 付属の「Windows 95 CD-ROM」と「Internet Explorer CD-ROM」
- 外付けフロッピーディスクドライブ
- PCカード対応のCD-ROMドライブ（別売）
  バックアップディスクの作成の手順10（→22ページ）で使用したCD-ROMドライブを準備してください。

2 操作を終わり（→18ページ「通常の終了」）、電源が切れたことを確認してACアダプターを取り外す。

3 外付けフロッピーディスクドライブを取り付ける。（→32ページ）

4 別売りのCD-ROMドライブを取り付ける。

取り付けかたについては、CD-ROMドライブに付属の説明書をご覧ください。

5 その他の周辺機器はすべて取り外す。

再インストールのしかた

1 セットアップユーティリティーの設定を標準の設定に戻す。

①セットアップユーティリティーを起動する。(→41ページ)
②[デフォルト設定]を選んで Enter を押す。
③「デフォルト設定」画面が表示されたら Enter を押す。
④[終了]を選んで Enter を押す。
⑤設定を保存して終了する。

2 ハードディスクを初期化する。

ハードディスクの初期化方法には、以下の２とおりの方法があります。
初心者向け：お買い上げ時に近い状態に戻す
上級者向け：Cドライブをお買い上げ時に近い状態に戻す
（領域を変更して初期化する）

必要なときに

再インストールする

＜初心者向け＞

あらかじめ作成しておいた「AL-N4保存ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットして、コンピューターを再起動してください。

●ハードディスクの領域をお買い上げ時の状態から変更していない場合
以下の手順⑬から始めてください。

●ハードディスクの領域をお買い上げ時の状態から変更した場合
以下の手順①から始めてください。

設定されている領域の削除

①「A:\>」に続けて「FDISK」と入力して Enter を押す。
②「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」というメッセージが表示されたら、「N」を入力して Enter を押す。
③「3.領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選んで、設定されているすべての領域を順に削除する。
④削除が完了したら、ESC を押してFDISKコマンドを終了した後、Alt ＋ Ctrl ＋ Del を押してコンピューターを再起動する。

ハイバーネーション用データエリアの確保（「領域」として確保）

⑤「A:\>」に続けて「HBUTIL　P　80」と入力して、Enter を押す。
⑥「ハイバーネーション用の領域が作られました」というメッセージが表示されたら、Alt ＋ Ctrl ＋ Del を押してコンピューターを再起動する。

Cドライブ領域の確保

⑦「A:\>」に続けて「FDISK」と入力して、Enter を押す。
⑧「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」というメッセージが表示されたら、「N」を入力して Enter を押す。
⑨「1.MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選んで Enter を押す。
⑩「1.基本MS-DOS領域を作成」を選んで Enter を押す。
⑪「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか」というメッセージが表示されたら、「Y」を入力して Enter を押す。
Cドライブ領域が作成されます。
⑫ ESC を押してFDISKコマンドを終了した後、Alt ＋ Ctrl ＋ Del を押してコンピューターを再起動する。

必要なときに

Cドライブのフォーマット

⑬「A:\>」に続けて「FORMAT C:」と入力して、Enter を押す。

⑭「フォーマットしますか」というメッセージが表示されたら、「Y」を入力して Enter を押す。

⑮フォーマットが完了したら、ボリュームラベルを入力するようにメッセージが表示されるので、必要に応じて入力する。（ボリュームラベルは、Windowsのインストール後に、入力、変更することもできます。）

＜上級者向け＞

コンピューターについて詳しい知識のないかたは、この方法では初期化しないでください。

ハイバーネーション用データエリアを「領域」として設定する場合と、「ファイル」として設定する場合に分けて説明しています。

◆データエリアを「領域」として設定する場合

①あらかじめ作成しておいた「AL-N4保存ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットして、コンピューターを起動する。

設定されている領域の削除

②「A:\>」に続けて「FDISK」と入力して、Enter を押す。

③「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」というメッセージが表示されたら、「N」を入力して Enter を押す。

④「3.領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選んで、設定されているすべての領域を削除する。

⑤削除が完了したら、ESC を押してFDISKコマンドを終了した後、コンピューターを再起動する。

ハイバーネーション用データエリアの確保

⑥「A:\>」に続けて「HBUTIL　P　＊」と入力して、Enter を押す。
「＊」には、システムメモリーのサイズを入力します。例えば、システムメモリーサイズが32 Mバイトの場合「HBUTIL　P　32」と入力します。

⑦「ハイバーネーション用の領域が作られました」というメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動する。

再インストールする

<u>各ドライブ領域の設定</u>

⑧「A:\>」に続けて「FDISK」と入力して、 Enter を押す。

⑨「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」というメッセージが表示されます。

●FAT16で初期化する場合は「N」を入力して Enter を押す。

●FAT32で初期化する場合は「Y」を入力して Enter を押す。

FAT32で初期化する場合の留意点

・FAT32をサポートしていないオペレーティングシステムから起動したとき（例えばMS-DOSをフロッピーディスクから起動した場合）、FAT32で初期化したハードディスクは読めません。

・FAT32に対応していないディスク管理ユーティリティーを実行すると、ハードディスクの内容が壊れることがあります。

⑩「1.MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選んで、各ドライブ領域を設定する。

⑪領域を作成したら、ESC を押してFDISKコマンドを終了した後、コンピューターを再起動する。

⑫各ドライブをFORMATコマンドでフォーマットする。

◆データエリアを「ファイル」として設定する場合

①あらかじめ作成しておいた「AL-N4保存ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットして、コンピューターを起動する。

<u>各ドライブ領域の設定</u>

②「A:\>」に続けて「FDISK」と入力して、 Enter を押す。

③「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」というメッセージが表示されたら、「N」を入力して Enter を押す。

④「3.領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選んで、不要な領域を削除する。

⑤「1.MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選んで、各ドライブ領域を設定する。

⑥設定が完了したら、ESC を押してFDISKコマンドを終了した後、コンピューターを再起動する。

⑦FORMATコマンドで、各ドライブをフォーマットする。

必要なときに

ハイバーネーション用データエリアの確保

⑧「A:\>」に続けて「HBUTIL F」と入力して、 Enter を押す。
⑨「ハイバーネーション用の領域が作られました」というメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動する。

3 Windows 95をインストールする

お買い上げ時の設定にするには各項目を次のように設定してください。

項目	選択肢
インストールするディレクトリ	C:\WINDOWS
セットアップ方法	標準
インストールするファイルの選択	Microsoft Exchange
	Microsoft FAX
	The Microsoft Network
	アクセサリ（すべて選択）
	ディスク管理ツール（すべて選択）
	マルチメディア(CDプレーヤー以外をすべて選択)
	ユーザー補助
	通信は、デフォルトのまま変更しない

①あらかじめ作成しておいた「Windows95 CD-ROMセットアップ起動ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、付属の「Windows 95 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、コンピューターを再起動する。
②「キーボードのタイプを判別します」のメッセージが表示されたら、半角/全角を押す。
③「セットアップへようこそ」画面が表示されます。
画面に表示されるメッセージに従って、インストールを続ける。
④「ディレクトリの選択」画面が表示されたら、[C:\WINDOWS]を選択して[次へ]をクリックする。
⑤「セットアップ方法」画面が表示されたら、[標準]を選択して[次へ]をクリックする。
⑥「Certificate of Authenticity」画面が表示されたら、付属の『ファーストステップガイド』の表紙に記載されている番号を入力して[次へ]をクリックする。
⑦「ユーザー情報」画面が表示されたら、名前と会社名を入力して[次へ]をクリックする。

再インストールする

⑧「コンピュータの調査」画面が表示されたら、[サウンド、MIDI、またはビデオキャプチャカード]の左側の□をクリックして、チェックマークを付けてから[次へ]をクリックする。
⑨「Windowsファイルの選択」画面が表示されたら、[インストールするオプションファイルを選択する]の左側の○をクリックして、チェックマークを付けてから[次へ]をクリックする。
⑩「インストールするファイルの選択」画面が表示されたら、必要なアプリケーションを選択する。
⑪選択が終わったら、[次へ]をクリックする。
⑫「起動ディスク」画面が表示されたら、作成する場合は[はい]、作成しない場合は[いいえ]の左側の○をクリックして[次へ]をクリックする。
「起動ディスク」はバックアップディスクを作成したときに作成済みですが、なくしてしまったかたはここで作成しておいてください。
⑬「コピー開始」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする。
以降はメッセージに従ってインストールを続ける。
⑭「コピー完了」画面が表示されたら、フロッピーディスクとCD-ROMを取り出して[完了]をクリックする。
⑮「Microsoft Exchange」をインストールした場合、再起動後「受信トレイセットアップウィザード」が起動します。ここでは、[キャンセル]を選択して次に進む。(受信トレイは後で設定してください。)
⑯「プリンタウィザード」画面が表示されたら、プリンターを接続している場合は[次へ]をクリックし、画面の表示に従ってプリンターを設定する。接続していない場合は、[キャンセル]をクリックする。
⑰「システムの設定を完了しました」という画面が表示されたら、[OK]をクリックする。
⑱Windows 95が再起動して「Windows 95へようこそ」画面が表示されたら、[閉じる]をクリックする。

4 Windows 95の最終設定をする

＜キーボードの設定＞

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順に選んで、[キーボード]アイコンをダブルクリックする。
②[情報]タブをダブルクリックする。
③[変更]をクリックして、「すべてのデバイスを表示」の左側の○をクリックしてマークを付ける。
④「106日本語(A01)キーボード」を選んで[OK]をクリックする。

⑤「ディスクの挿入」画面が表示されたら[OK]をクリックする。
⑥「参照」をクリックし、「C:\CABS」を指定して[OK]をクリックする。
⑦「ファイルのコピー元」に「C:\CABS」と表示されていることを確認して[OK]をクリックする。
⑧「キーボードのプロパティ」画面に戻ったら[閉じる]をクリックし、以降はメッセージに従って操作する。

＜電源のプロパティの設定＞

①「コントロールパネル」の[パワーマネージメント]アイコンをダブルクリックする。
②「パワーマネージメント」タブをクリックする。
③「Windowsでコンピュータの電源管理をする」と「タスクバーにバッテリー状態を表示」の左側の□にチェックが付いていることを確認する。
④[ディスクドライブ]タブをクリックする。
⑤「電源がAC電源の場合」と「電源がバッテリーの場合」の左側の□にチェックマークが付いている場合は、□をクリックして消した後、[OK]をクリックする。

補足
ディスクドライブのパワーマネージメントは、ここでは設定しないでください。[スタート]→[Panasonic]→[パワーマネージメント設定]を起動して設定してください。

＜各種ドライバーのインストール準備＞

①あらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク３」をフロッピーディスクドライブにセットする。
②[スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
③「名前」に「A:\RESTWIN」と入力し、[OK]をクリックする。
④DOSウインドウのタイトルバーに「完了ーrestwin」と表示されたら、右上の[X]マークをクリックしてDOSウインドウを閉じる。
⑤フロッピーディスクドライブから「ユーティリティディスク３」を取り出す。
⑥[スタート]をクリックし、[Windowsの終了]をクリックする。
⑦[コンピュータを再起動する]を選択して[はい]をクリックする。

再インストールする

5 PC**カードを使用できるように設定する。**

①[コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックする。
②「システムのプロパティ」の[デバイスマネージャ]タブをクリックする。
③[その他のデバイス]の下にある２つの[PCI CardBus Bridge]を削除する。
④[閉じる]をクリックして、「システムのプロパティ」を終了する。
⑤[スタート]をクリックし、[Windowsの終了]をクリックする。
⑥[コンピュータを再起動する]を選んで、[はい]をクリックする。
⑦「Windows 95 CD-ROM」のセットを指示するメッセージが表示されたら[OK] をクリックする。
ファイルが見つからなかったことを知らせるメッセージが表示されます。

> **補足**
> PCカードの設定中は、CD-ROMドライブを認識することができないため、CD-ROMをセットしていても、上記のメッセージが表示されます。

⑧「D:\WIN95」を「C:\CABS」に変更して、[OK]をクリックする。
⑨Windows 95が起動したら、フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク３」をセットする。
⑩[スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
⑪「名前」に「A:\PCIC」と入力し、[OK]をクリックする。
⑫DOSウインドウのタイトルバーに「完了-pcic」と表示されたら、右上の[X]マークをクリックしてDOSウインドウを閉じる。
⑬フロッピーディスクドライブから「ユーティリティディスク３」を取り出す。
⑭[スタート]→[Windowsの終了]をクリックし、[コンピュータを再起動する]を選んで[はい]をクリックする。
⑮Windows 95が再起動したら、「コントロールパネル」の[PCカード(PCMCIA)]アイコンをダブルクリックする。
⑯「PCカード(PCMCIA)ウィザード」画面が表示されます。
[いいえ]を選んで、[次へ]をクリックする。
⑰「...リアルモードPCカードドライバを選びますか？」というメッセージ画面が表示されたら、[いいえ]を選んで、[次へ]をクリックする。
⑱最後の画面では、[完了]をクリックする。

⑲「コンピュータを終了しますか？」というメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。

⑳コンピューターの電源が切れたら、CD-ROMドライブを取り外す。

㉑コンピューターの電源を入れ、Windows 95が起動したら、フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「ドライバーディスク１」をセットする。

㉒[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

㉓「名前」に「A:\PCCARDUP」と入力し[OK]をクリックする。

㉔「Windows 95 Update」画面が表示されたら、[はい]をクリックする。

㉕「バージョンの競合」画面が表示されたら、[はい]をクリックする。

㉖「Update complete!」と表示されたら、[OK]をクリックする。

6 ビデオドライバーのインストールと画面の設定を行う。

①あらかじめ作成しておいた「ドライバーディスク１」をフロッピーディスクドライブにセットする。
②[コントロールパネル]の[画面]アイコンをダブルクリックする。
③「画面のプロパティ」の[ディスプレイの詳細]タブをクリックし、[詳細プロパティ]をクリックする。
④[ディスプレイの詳細プロパティ]の[アダプタ]タブをクリックし、[変更]をクリックする。
⑤「デバイスの選択」ウインドウの[ディスク使用]をクリックする。
⑥「配布ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認し、[OK]をクリックする。
⑦「NeoMagic MagicGraph 128ZV」が表示されていることを確認し、[OK]をクリックする。(ドライバーのコピーが行われます。)
⑧「ディスプレイの詳細プロパティ」の[モニター]タブをクリックし、[変更]をクリックする。
⑨「モデル」の中から「Super VGA 1024×768」を選んで、[OK]をクリックする。
⑩「パフォーマンス」タブをクリックし、「再起動しないで設定を変更する」を選ぶ。
⑪「アダプタ」タブをクリックし、「リフレッシュレート」で「アダプタの標準」を選択して、[閉じる]をクリックして[OK]をクリックする。
⑫「コンピュータを再起動すると、変更が有効になります。」と表示されたら[OK]をクリックする。
⑬「画面のプロパティ」の「ディスプレイの詳細」画面で、次のように設定する。

項目	設定
カラーパレット	High Color(16ビット)
デスクトップ領域	800×600ピクセル
タスクバーに設定インジケータを表示する	選択する(チェックマークを付ける)

⑭設定を終了したら、[閉じる]をクリックする。
⑮フロッピーディスクドライブから「ドライバーディスク１」を取り出し、[はい]をクリックし、再起動する。

7 YAMAHAサウンドカードドライバーをインストールする

①[コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックする。
②「システムのプロパティ」の[デバイスマネージャ]タブをクリックする。
③[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]から４つのデバイスを次の順で削除する。
(1)「ゲームポートジョイスティック」
(2)「MS Windows Sound System互換」
(3)「MPU-401 Compatible」
(4)「Creative Labs Sound Blaster Pro」
④「再起動しますか？」というメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。
●メッセージが表示されない場合
[スタート]→[Windowsの終了]をクリックし、[コンピュータを再起動する]を選んで[はい]をクリックする。
⑤「デバイスドライバウィザード」の画面が表示されたら、あらかじめ作成しておいた「ドライバーディスク１」をフロッピーディスクドライブにセットして、[次へ]をクリックする。
⑥「YAMAHA OPL3-SAx Sound System」が見つかったことを確認して、[完了]をクリックする。
⑦ディスク挿入のメッセージが表示されたら[OK]をクリックする。
⑧「ファイルのコピー」画面で、「ファイルのコピー元」に「A:\」と入力して[OK]をクリックする。
⑨メッセージに従って「ドライバーディスク２」をセットする。
⑩Windowsの画面に戻ったら、「ドライバーディスク２」を取り出す。
⑪「コントロールパネル」の[OPL3-SAx Config]アイコンをダブルクリックして、各種サウンドの設定を行う。
⑫「コントロールパネル」の[パワーマネージメント]アイコンをダブルクリックする。
⑬[OPL3-SAx電源管理]タブをクリックして、「電力消費の程度」を設定する。お買い上げ時の設定は「普通に節約」です。

補足

モデムカードなど、PCカードからの音を本体のスピーカーで鳴らす場合は、「少し節約」か「パワーセーブしない」に設定してください。
「大幅に節約」に設定すると、サウンドコントローラーが省電力モードに入るときや、復帰するときにスピーカーから音が出ることがあります。

再インストールする

8 ハードディスクコントローラーを変更する

標準では「シングルFIFO」のドライバーがインストールされています。これを「デュアルFIFO」のドライバーに変更します。

①[コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックする。
②「システムのプロパティ」の[デバイスマネージャ]タブをクリックする。
③[ハードディスクコントローラ]から[スタンダードPCI IDEコントローラ]を選んで、[削除]をクリックする。確認して[OK]をクリックする。
④「システム設定の変更」画面で[はい]をクリックして、コンピューターを再起動する。
Windows 95の再起動中に、新しいコントローラーが検出されます。
⑤はじめの「システム設定の変更」画面では、[いいえ]をクリックする。
再び新しいコントローラーが検出されます。
⑥「システム設定の変更」画面で[はい]をクリックしてコンピューターを再起動する。

9 Panasonicユーティリティーをインストールする

「パワーマネージメント設定」や「補足説明」をインストールします。

①あらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク１」をフロッピーディスクドライブにセットする。
②[スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
③「名前」に「A:\SETUP」と入力し、[OK]をクリックする。
④画面に表示されるメッセージに従ってインストールを続ける。
途中、メッセージに従って「ユーティリティディスク２」をフロッピーディスクドライブにセットしてください。

10 各種アプリケーションをインストールする

＜NIFTY Manager＞

①あらかじめ作成しておいた「NIFTYディスク１」をフロッピーディスクドライブにセットする。
②[スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
③「名前」に「A:\SETUP」と入力し、[OK]をクリックする。
④画面に表示されるメッセージに従ってインストールする。

＜インターネットエクスプローラ4.0＞

お買い上げ時には、「インターネットエクスプローラ4.0」がインストールされています。Windows 95の再インストールを行うと古いバージョン(「インターネットエクスプローラ3.0」)に戻ってしまいます。
お買い上げ時の状態に戻すには、付属の「Internet Explorer CD-ROM」を使って、もう一度インストールしてください。
CD-ROMドライブを接続した後、「Internet Explorer CD-ROM」をセットすると、インストールツールが起動します。以降は表示されるメッセージに従って操作してください。

＜MS-IME97日本語入力システム＞

お買い上げ時には、「MS-IME97日本語入力システム」がインストールされています。Windows 95の再インストールを行うと古いバージョン(「MS-IME95日本語入力システム」)に戻ってしまいます。
お買い上げ時の状態に戻すには、以下の手順にしたがってもう一度インストールしてください。
インストールを始める前に、CD-ROMドライブを接続してください。
①付属の「Windows 95 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする。
②[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
③「名前」に「D:\OTHER\MSIME97A\MSIME97」と入力し[OK]をクリックする。
④画面に表示されるメッセージに従って「MS-IME97日本語入力システム」をインストールする。

キーボードの操作

キーコンビネーション

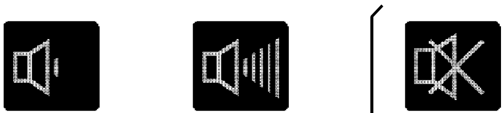
Fnを押しながら下記のキーを押すことによって、特殊機能が有効になります。この操作を「ホットキー」と呼びます。

Fn ＋ F2 ：LCDバックライトの輝度を切り換えます。キーを押すごとに（暗→中→明→省電力）の順に輝度が切り換わります。

Fn ＋ F3 ：画面表示の表示先を切り換えます。キーを押すごとに（外部モニター→内部LCD→同時表示）の順に表示先が切り換わります。
・外部モニターが接続されていない場合は切り換わりません。

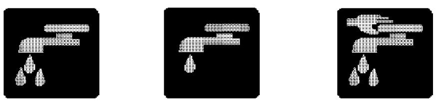
Fn ＋ F4 ：内蔵スピーカーボリュームを下げます。

Fn ＋ F5 ：内蔵スピーカーボリュームを上げます。音量は下図のように画面にアイコン表示されます。なお、スピーカーオフアイコンが表示されたときは、スピーカーオフを解除してから音量を変更するようにしてください。



音量小　　音量大　　（スピーカーオフ）

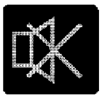
Fn ＋ F6 ：省電力設定モードを切り替えます。キーを押すごとに、（標準モード→省電力モード→ユーザー設定モード）の順に省電力設定モードを切り換えます。状態は、下図のように画面にアイコン表示されます。

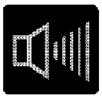


標準モード　　省電力モード　　ユーザー設定モード

Fn + F7 ：本機をハイバーネーションモードにします。

Fn + F8 ：内蔵スピーカーから出る音を消します。再度押すと元に戻ります。状態は下図のように画面にアイコン表示されます。


スピーカーオフ


スピーカーオン

Fn + F9 ：バッテリーの充電状況が、画面にアイコン表示されます。詳しくは「画面に表示されるアイコンで確認する」(→28ページ)

Fn + F10 ：省電力のため、ハードディスクドライブモーター、LCDバックライトの電源を切ります。いずれかのキーを押すと、LCDバックライトの電源が入ります。ハードディスクへのアクセスがあれば、ハードディスクドライブモーターの電源が入ります。

Fn + 電源スイッチ ：サスペンド機能またはハイバーネーション機能が有効であっても、サスペンドやハイバーネーションせずに電源を切ります。使用中のデータを保存し、Windowsを終了した状態で使ってください。

お願い

- システム起動中、あるいはサスペンドやハイバーネーション処理を実行中は一部のホットキーは使用できません。
- 高速なシリアル通信中などにホットキーを使用すると、通信エラーになることがあります。通信中はホットキーを使用しないでください。
- 音声再生、録音中にホットキーを使用すると、音がみだれることがあります。

キーボードの操作

特殊キー

Esc ：アプリケーションソフトによって機能が異なります。

ScrLK ：アプリケーションソフトによって機能が異なります。

NumLK ： Shift を押しながら押して、テンキーを有効にするかどうかを切り替えます。有効にするとテンキーを使って数字を入力できます。

NumLKインジケーター点灯時：テンキー有効
この状態で Fn を押しながら入力すると、テンキー無効になります。
NumLKインジケーター消灯時：テンキー無効
この状態で Fn を押しながら入力すると、カーソルや画面の移動キーとして使用できます。

Pause/Break ：プログラムの実行を中断します。続行する場合は、任意のキーを押してください。 Ctrl を押しながら押した場合は、プログラムの実行を中止します。

CapsLock/英数 ：英数字入力になります。 Shift を押しながら押した場合は、CapsLock状態に入ります。もう一度押すと、解除されます。CapsLock状態では、アルファベットキーを押すと、大文字入力になり、 Shift を押しながらアルファベットキーを押すと小文字入力になります。

Enter ：コンピューターに対して、コマンドやデータが入力されます。

Shift ：通常、このキーを押しながらアルファベットキーを押すと、大文字入力になります。また、このキーを押しながら数字キーか特殊キーを押すと、キートップの上部に印字されている記号が入力されます。

Ctrl ：このキーを押しながら他のキーを押すと、特殊機能が有効になります。このキーを押しながら他の特殊キーを押した場合、アプリケーションソフトによって機能が異なります。

Alt ：このキーを押しながら他のキーを押すと、特殊機能が有効になります。このキーを押しながら他の特殊キーを押した場合、アプリケーションソフトによって機能が異なります。

困ったときに開くページ

本機を動かそうとして、思ったとおりに動かないことがあります。おかしいな？と思ったら、このページを読んでください。また、ソフトウェアによる原因も考えられますので、Windowsやアプリケーションソフトなど各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからないときは、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

起動時の問題

こんなときは	ここをお調べください
操作できない	●ACアダプターは、本体の電源端子および電源コンセントに差し込まれていますか？ ●ディスプレイを閉じた（パネルスイッチが押された）状態では、電源が入りません。ディスプレイを開けてから電源を入れてください。 ●十分充電されたバッテリーパックが正しく入っていますか？ ●本体裏面のリセットスイッチを押して、本機を再起動させたあと正常に動作しませんか？ ●本体のACアダプターおよびバッテリーパックをすべて外してから再度装着し、再起動させたあと正常に動作しませんか？ ●HDD内容が破壊されていませんか？ セットアップユーティリティーで「起動ドライブ」を「FDD→HDD」に設定。フロッピーディスクドライブに「AL-N4保存ディスク」を挿入して再起動し、HDD内容を確認してください。
画面に何も表示されない	●省電力機能によって、自動的にディスプレイが消えることがあります。いずれかのキーを押すと、元に戻ります。 ●セットアップユーティリティーで外部モニターが選ばれていませんか？　外部モニターに設定された状態で、サスペンドやハイバーネーションを行った後、外部モニターを取り外して、リジュームを行っていませんか？この時は Fn を押しながら F3 を押してみてください。
画面上の日付/時刻の表示が違っている	●コントロールパネルを使って、正しい日付/時刻を設定してください。 ●日付/時刻の情報を保持しているクロックバッテリー(リチウム電池)が切れかかっているおそれがあります。 お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
パスワードを忘れた	●お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

必要なときに

困ったときに開くページ

操作中の問題

こんなときは	ここをお調べください
操作中に本機が動かなくなった	●バッテリーパックを使って操作していたときは、バッテリーが切れた可能性があります。ACアダプターを接続してください。 ●使っていたアプリケーションソフト上の問題でシステムが止まってしまった可能性があります。そのソフトウェアの使用を中止し、リセットスイッチを押し本機を再起動してください。
バッテリー状態表示ランプが赤く点灯している	●バッテリー残量がありません。ACアダプターを接続してください。 ●ACアダプターが正しく接続されていない可能性があります。正しく接続し直してください。 ●バッテリー容量の計測機能が正しく動作していない可能性があります。「バッテリー容量を正確に表示させるために」（→28ページ）に従って操作をしてください。
バッテリー状態表示ランプが赤く点滅している	●バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。正しく装着し直してください。 ●それでも赤く点滅するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
使用中に「ピー・ピー」と音が鳴り始めた	●バッテリーが切れかかっています。ACアダプターを接続してください。
充電中にバッテリー状態表示ランプが消灯している	●ACアダプターとバッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。ACアダプターとバッテリーパックを取り外し、再度正しく装着し直してください。 それでも消灯するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
キー操作による残量表示では100%なのにバッテリー状態表示ランプのオレンジ色点灯が長く続く	●バッテリー容量計測機能が正しく動作していない可能性があります。「バッテリー容量を正確に表示させるために」（→28ページ）に従って操作をしてください。

操作中の問題（つづき）

こんなときは	ここをお調べください
動作が遅い	●メモリー不足が考えられます。RAMモジュールを増設してください。（→35ページ）

ディスプレイ画面の問題

こんなときは	ここをお調べください
画面が消えた	●省電力機能によって、スタンバイ状態になることがあります。その場合、いずれかのキーを押すと元に戻ります。
残像が残る	●イメージが画面に残ると、画面に焼きつき、残像となることがあります。これは、異常ではありません。別の画面が現れてしばらくたつと、残像は消えます。
画面に緑、赤、青のドットが残る	●これらのドットが残るのは、カラー液晶ディスプレイの特質です。故障ではありません。

ドライブの問題

こんなときは	ここをお調べください
フロッピーディスクドライブにアクセスしない	●外付けフロッピーディスクドライブが正しく接続されていますか？ ●フロッピーディスクは正しくセットされていますか？ ●フロッピーディスクは初期化されていますか？ ●ライトプロテクトタブが書き込み禁止の状態になっていませんか？
フロッピーディスクが初期化できない	●コマンドおよびコマンドパラメーターを正しく入力しましたか？ ●ライトプロテクトタブが書き込み禁止の状態になっていませんか？
ハードディスクドライブにアクセスできない	●原因がわからない場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

困ったときに開くページ

周辺機器の問題

こんなときは	ここをお調べください
プリンターが動かない	●ケーブルが正しく接続されていますか？ ●プリンターの電源は入っていますか？ ●セットアップユーティリティーで「パラレルポート」を「378」「278」または「3BC」に設定してください。 ●適切なプリンタードライバーが選択されていますか？
マウスが使えない	●マウスケーブルが正しく接続されていますか？ ●マウスのデバイスドライバープログラムがロードされ、動いていますか？ 詳しくは、お使いのアプリケーション、またはマウスのプログラムのマニュアルを参照してください。 ●マウスがシリアルコネクターに接続されている場合は、セットアップユーティリティーで「トラックボール」を「無効」に設定してください。その後、「シリアルポート」を「3F8(IRQ4)」か「2F8(IRQ3)」に設定してください。 ●PS/2マウスがマウス/外部キーボード端子に接続されている場合は、セットアップユーティリティーで「トラックボール」を「無効」に設定してください。
トラックボールが使えない	●マウスのデバイスドライバーのプログラムがロードされ、動いていますか？詳しくは、お使いのアプリケーションプログラムのマニュアルを参照してください。 ●セットアップユーティリティーの「トラックボール」の設定が「有効」になっていますか？
PCカードが使えない	●カードは正しくセットされていますか？ ●当社指定以外のカードを使用していませんか？ ●適切なドライバープログラムがインストールされていますか？ ●CardBusモード時、Windows起動後に２枚のPCカードをセットすると正しく動作しません。２枚のPCカードをセットした状態で、Windowsを起動し直してください。

周辺機器の問題

こんなときは	ここをお調べください
PCカードが使えない	●PCカードが使用しているI/Oアドレス、IRQナンバー、チャンネルを確認し、設定し直してください。 ＜I/Oアドレス＞以下のアドレスをさけて設定し直してください。 I/O:0000H-00FFH　(システムボード) 1F0H-1F7H　(ハードディスクドライブ) 220H-22FH　(サウンド)*4 240H-24FH　(サウンド)*4 260H-26FH　(サウンド)*4 278H-27FH　(パラレルポート)*2 280H-28FH　(サウンド)*4 2F8H-2FFH　(赤外線通信ポート)*1 330H-331H　(サウンド) 370H-371H　(サウンド) 378H-37FH　(パラレルポート)*2 388H-38BH　(サウンド) 388H-389H　(FM) 398H-399H　(FM) 3B0H-3BBH　(VGA) 3BCH-3BFH　(パラレルポート)*2 3C0H-3DFH　(VGA) 3E0H-3E1H　(PCカードコントローラー) 3F0H-3F7H　(フロッピーディスクコントローラー) 3F8H-3FFH　(シリアルポート)*3 530H-538H　(サウンド)*5 640H-648H　(サウンド)*5 E80H-E88H　(サウンド)*5 F40H-F48H　(サウンド)*5 *1 赤外線通信(IrDA)ポートアドレスは、セットアップユーティリティーで2F8H、3F8H、"無効"のいずれかに設定できます。 *2 パラレルポートアドレスは、セットアップユーティリティーで278H、378H、3BCH、"無効"のいずれかに設定できます。 *3 シリアルポートアドレスは、セットアップユーティリティーで3F8H、2F8H、"無効"のいずれかに設定できます。 *4 サウンドポートアドレスは、セットアップユーティリティーで220H、240H、260H、280Hのいずれかに設定できます。 *5 サウンドポートアドレスは、セットアップユーティリティーで530H、640H、E80H、F40Hのいずれかに設定できます。 ＜IRQナンバー＞以下のいずれかに設定してください。 IRQ: 3*1, 4*2, 7*3, 9, 10, 11, 15 *1 IRQ3は通常、COM2(赤外線通信ポート)が使用しています。 *2 IRQ4は通常、COM1(シリアルポート)が使用しています。 *3 IRQ7は通常、プリンターに使用されます。 PCカードで、IRQ3またはIRQ4を使用するときは、セットアップユーティリティーでシリアルポートまたは赤外線通信(IrDA)ポートを「無効」にしてください。

エラーメッセージ一覧

BIOSのエラーが発生した場合は、起動時に以下のようなエラーメッセージが表示されます。
各エラーコードの意味は以下のとおりです。

エラーメッセージ	意味
Internal cache failure	CPU内蔵キャッシュメモリーのエラーです。
062 Boot failure - default configuration used	7回以上して自己診断プログラム(POST)が中断され、システムボードにデフォルト設定が行われました。
101 System Board Failure	割り込みコントローラーのエラーです。
102 System Board Failure	タイマーのエラーです。
106 System Board Failure	フロッピーディスクコントローラーのエラーです。
151 System Board Failure	リアルタイムクロックのエラーです。
161 Bad CMOS Battery	CMOSバッテリーのエラーです。
162 Configuration Error	CMOSの設定が誤っています。
162 Configuration Change Has Occurred	システム設定が変更されました。
163 Date and Time Incorrect	日付・時刻が設定されていません。
164 Memory Size Error	メモリー・サイズが変更されたと判断されました。
201 Memory Size Error	メモリーのデータエラーです。
604 Diskette Drive Error	フロッピーディスクドライブのエラーです。
1780 Hard Disk Error	ハードディスクのエラーです。
8603 Pointing Device Error	トラックボールかシステムボードのエラーです。
その他のエラーメッセージ	自己診断プログラムがエラーを発見しました。

自己診断プログラム

DIAGプログラム

DIAGプログラムを使うと、本機各部の動作のテストをすることができます。

お願い

- ハードディスクを圧縮して使用しているとテストできません。
- 保存ディスクで設定している項目以外のテストを行ったり、また、テスト内容を変更して動作させないでください。テスト内容によっては、エラーが発生するものもあります。（例えば、シリアルポートのテストなど）
- VIDEOの画面モードでは正常なら Y を、異常であれば N を押してください。

1 フロッピーディスクドライブ以外のすべての周辺機器を取り外す。

2 ACアダプターを接続する。

3 セットアップユーティリティーの設定を標準の設定に戻す。
（→65ページ「再インストールのしかた」の手順1参照）

4 フロッピーディスクドライブに「AL-N4保存ディスク」をセットし、本機を起動する。

5 プロンプト(A:\)に続けて、以下のように入力する。

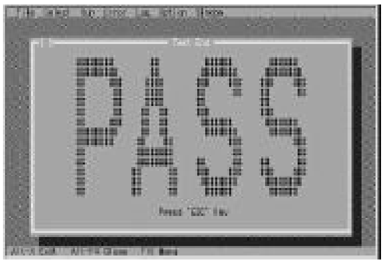
DIAGN4 Enter

6 自己診断プログラムが自動的に起動し、テストを開始する。(テストに10分程度かかります。)

途中、画面に表示されるメッセージにしたがって操作してください。ディスプレイのテストの際には、画面表示を確認し、よければ Y を押してください。

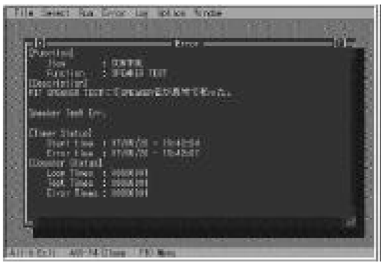
自己診断プログラム

●テストが正常の場合は、PASSと画面に表示されます。



●エラーが発生した場合は、赤い画面の中に、テスト項目([Function])・エラー内容([Description])・開始終了時刻([Timer Status])・ループ/テスト/エラー回数([Counter Status])が表示されます。

（例）スピーカーテストでのエラー出力



7 自己診断プログラムを終了するときは、 ALT + X を押す。

主なテスト項目

テスト項目	内容
CPU	キャッシュ
RAM	基本/拡張メモリーの読み出し/書き込み
CONTROL	DMA,PIC,RTC,PITなど
IO	キーボード、マウス
COMMUNICATION	シリアルポート、パラレルポート
AUX	PCIC
VIDEO	VRAMの読み出し/書き込み
DISK	ハードディスクドライブ
UNIQUE	ECP,EPP,CMOS

ソフトウェア使用許諾書

この製品にインストールされているソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことがご使用の条件になっています。

第1条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属フロッピーディスク、マニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第4条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、コンピューター1台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

第5条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

第6条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第7条　免責
本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等はその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

第8条　その他
上記第6条のアフターサービスには、付属の「ソフトウェアサポートカード」が必要です。本ソフトウェアのバックアップと併せて大切に保管してください。

仕様

機種			AL-N4T512J5
CPU			MMX®テクノロジPentium®プロセッサ120 MHz
メモリー	メインRAM		標準:16 Mバイト、最大:80 Mバイト(64 MバイトDIMM装着時)
	ROM		256 kバイト
	ビデオメモリー		1.1 Mバイト
ハードディスクドライブ			1.6 Gバイト
表示機能	テキスト表示		80文字×25行
	グラフィック表示		解像度:800×600ドット 色数:65536色
	漢字表示		日本語表示40文字×25行
入力装置	キーボード		総数88キー
	ポインティングデバイス		光学式トラックボール(直径16 mm)
インターフェース	I/Oボックス	プリンター	セントロニクス準拠D-sub 25ピン
		シリアル	RS-232C D-sub 9ピン
		外部キーボード マウス テンキーボード	PS/2タイプ
		ディスプレイ	アナログRGB D-sub 15ピン
		外付けFDD	26ピン
	音声		マイク入力(MICミニM3)×1 ヘッドフォン出力(PHONESミニM3)×1
	赤外線通信ポート		IrDA-SIR準拠、最大115.2kbps/ASK
カードスロット	PCカード専用		タイプII×2スロット またはタイプIII×1スロット Card Bus/ZV Port*5サポート(3.3 Vで800 mA/5 Vで600 mA*1)
	RAMモジュール専用		1スロット
オーディオ機能			PCM音源(Sound Blaster Pro互換) FM音源 スピーカー搭載
時計機能			クロックバッテリーバックアップ 月差±60秒
電源	入力		ACアダプター 15.1 V (入力AC100 V, 50/60 Hz)*3 バッテリーパック10.8 V (Li-Ion)
	消費電力*2		約26 W
バッテリー稼働時間			標準約2.5時間
外形寸法(幅×奥行×高さ)			225×172×36*4mm
質量			1.0 kg (標準バッテリー装着時)
使用環境条件			温度:5〜35 ℃ 湿度:30〜80 %RH(結露なきこと)
導入済みソフトウェア			Microsoft® Windows® 95,Microsoft® Internet Explorer, NIFTY Manager,AOL for Windows,各種ドライバー
フロッピーディスクドライブ			外付け1ドライブ-3.5インチ(1.44 M/1.2 M/720 kバイト)

増設RAMモジュール(DIMM)は、EDOおよびセルフリフレッシュのメモリーを使用したモジュールに限り使用できます。
ハードディスクドライブの容量は1 Gバイト=10⁹バイト表記です。

*1 2スロット合計の許容電流です。12 V電源を必要とするPCカードは使用できません。

*2 電源オン時、バッテリー充電中の表記です。(電源オフ、バッテリー充電終了時、ACアダプターは約1.2 Wの電力を消費しています。また、電源オフ時のバッテリーの消費電力は約30 mWです。)

*3 ACアダプター本体はAC240 Vまで対応。電源コードは、AC125 Vまで対応。

*4 デザインの都合上で高さが38 mmの部分があります。

*5 ZV Portは下段スロットだけサポートしています。

さくいん

A〜Z

あ

か

さ

さくいん

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は､家庭環境で使用することを目的としていますが､この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
・漏洩電流について､この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

必要なときに

・Microsoftとそのロゴ、MS、MS-DOS、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
・Pentiumは、米国インテル社の登録商標です。
・SoundBlasterは、米国クリエイティブ・テクノロジー社の商標です。

保証とアフターサービス

修理･お取り扱い･お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

・お買物･商品仕様･資料請求･その他ご相談は､「お客様ご相談センター」へ！
・操作方法・技術的なお問い合わせは､「テクニカルサポートセンター」へ！
・修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
（詳細は、98、99ページをご覧ください。）

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から１年間

■修理を依頼されるとき
『困ったときに開くページ』に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、パーソナルコンピューターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。
注）補修用性能部品とは､その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

必要なときに

- FPANAPC*1アクセスについてのご相談は、「Let's note Station」へ！
  *1 パソコン通信NIFTY SERVEのユーザーフォーラムでユーザーどうしによる情報交換などが行われています。
- Let's noteのホームページ*2では製品紹介、FAQなど情報掲載やご購入ユーザー様のご愛用者登録を行っております。
  *2［お気に入り］→［Panasonic　お勧めのサイト］→［Lest's noteホームページ］

お買物・商品仕様・資料請求相談窓口

お客様ご相談センター

0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料）365日／受付9時～20時

操作方法・技術相談窓口

パナソニックパソコン
テクニカルサポートセンター

0120-873029

受付日および時間
月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）10時～17時

通信ネットワークおよびご来店技術相談窓口

Let's note Station

東京都千代田区外神田6丁目13番10号
（ミクニ・イーストビル2F）

TEL 03-3834-8896
E-mail webmaster@spo.mei.co.jp
jdr00524@niftyserve.or.jp

受付日および時間
月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）
10時～12時　12時45分～17時

保証とアフターサービス

修理ご相談窓口

北海道地区		
札幌 ☎(011)894-1251 札幌市[illegible]区[illegible]2丁目17-7	旭川 ☎(0166)31-6151 旭川市[illegible]	函館 ☎(0138)53-7107 函館市山の手 1丁目1-15

東北地区		
青森 ☎(0177)39-9712 青森市大字八ッ役 字矢作1-37	岩手 ☎(0196)39-5120 [illegible]	山形 ☎(0236)41-8100 [illegible]センター 3丁目12-[illegible]
秋田 ☎(0188)26-1600 秋田市[illegible] 2丁目1-2	宮城 ☎(022)375-2512 仙台市泉区市名坂 字[illegible]59-2	福島 ☎(0243)34-1301 [illegible]

首都圏地区		
栃木 ☎(0286)32-8490 宇都宮市中央 1丁目8-13	千葉 ☎(043)251-3537 千葉市稲毛区 園生町369-1	新潟 ☎(025)285-0171 新潟市東明1丁目 8-14
群馬 ☎(0273)52-1217 高崎市[illegible]町[illegible] 205-12	[illegible] ☎(047)334-5111 [illegible]市本中山 6丁目11-7	[illegible] ☎(0259)23-2898 [illegible] 108-1
[illegible] ☎(0276)25-6870 [illegible]-1	柏 ☎(0471)63-8806 [illegible]	[illegible] ☎(0258)28-2111 [illegible]
水戸 ☎(029)225-0119 水戸市[illegible]	東京 ☎(03)5477-9780 東京都世田谷区 [illegible]2丁目26-17	上越 ☎(0255)44-6871 上越市大字[illegible]
つくば ☎(0298)64-8080 つくば市花畑 2丁目8-1	山梨 ☎(0552)22-5171 甲府市下飯田 2丁目1-27	
埼玉 ☎(048)728-8980 [illegible]川市[illegible]2丁目 1-2	神奈川 ☎(045)847-9720 横浜市港南区日野 5丁目3-16	

中部地区		
石川 ☎(0762)94-2883 石川県石川郡 野々市町[illegible] 3丁目80	長野 ☎(0263)58-0073 松本市大字[illegible] 7600-7	岡崎 ☎(0564)55-5719 [illegible]
富山 ☎(0764)32-8706 富山市[illegible]1298	静岡 ☎(054)287-9000 静岡市西島765	岐阜 ☎(058)323-6010 [illegible]
福井 ☎(0776)54-5506 福井市[illegible]丁目 [illegible]	名古屋 ☎(052)614-3135 名古屋市南区 西又兵ヱ町3丁目 48	三重 ☎(0592)55-1380 久居市[illegible]町[illegible] 1920-3

必要なときに

近　畿　地　区

滋賀 (0775)82-5021 守山市[illegible]町260 京都 (075)672-9535 京都市南区上鳥羽[illegible]町20-1	大阪 (06)359-6225 大阪市北区本庄西1丁目1-7 奈良 (0743)59-2770 大和郡山市[illegible]町[illegible]-2	[illegible] (0734)75-1311 [illegible] 兵庫 (078)272-6545 神戸市中央区[illegible]町3丁目2-6

中　国　地　区

鳥取 (0857)26-9595 鳥取市[illegible]295-1 米子 (0859)34-2129 米子市[illegible]1丁目2-33 松江 (0852)23-1128 [illegible]	出雲 (0853)21-3133 出雲市[illegible] 浜田 (0855)22-6529 浜田市[illegible]町327-93 岡山 (086)292-1162 [illegible]	広島 (082)295-5011 広島市西区[illegible]3丁目15-20 山口 (0839)85-4050 山口市[illegible]

四　国　地　区

香川 (0878)74-6200 [illegible] 徳島 (0885)98-1125 [illegible]	高知 (0888)65-3142 南国市[illegible]331-1	愛媛 (089)971-2144 松山市[illegible]町750-2

九　州　地　区

福岡 (092)593-9035 春日市春日公園3丁目48 佐賀 (0952)25-9151 佐賀市本庄町[illegible] 長崎 (0958)30-1658 [illegible]	大分 (0975)55-3815 大分市[illegible]1丁目8-35 宮崎 (0985)85-6530 [illegible] 熊本 (096)357-6057 熊本市[illegible]町12-3	鹿児島 (099)250-5557 鹿児島市[illegible]1丁目5-33 大島 (0997)53-5101 名瀬市[illegible]町10-15

沖　縄　地　区

沖縄 (098)888-0131　[illegible]2-24-15

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します

『国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。』

愛情点検	長年ご使用のコンピューターの点検を！		
	こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った	▶ このような症状の時は故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	品番	AL-N4T512J5
	販売店名	☎（　）　–	お客様ご相談窓口 ☎（　）　–	

松下電器産業株式会社　パーソナルコンピュータ事業部

〒570 大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

FJ1197-3117

© Matsusita Electric Industrial Co., Ltd. 1997

ITT0396AA